

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和 7 年 3 月 3 1 日

富 士 宮 市 議 会 議 長 諏 訪 部 孝 敏 様

会 派 名 称 明 和

代 表 者 氏 名 辻 村 岳 瑠

令和 6 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記



1 収 入
政 務 活 動 費 2, 100, 000 円

2 支 出

項 目	金 額 (円)	主 た る 支 出 の 内 訳
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
会 議 費	523, 430	
事 務 費	0	
調 査 旅 費	1, 178, 610	
そ の 他 経 費	31, 800	
合 計	1, 733, 840	

3 残 額 366, 160 円

令和 6 年度 政務活動費 現金出納簿

(単位:円)

月	日	項 目	内 容	収入金額	支払金額	残 高
4	1	政務活動費	300,000円×7人	2,100,000		2,100,000
4	5	会議費	研参加費 33,000円×3人=99,000円 振込手数料660円		99,660	2,000,340
4	18	会議費	研修旅費 13,430円×3人分		40,290	1,960,050
4	30	会議費	研修参加費 11,000円×5人=55,000円 振込手数料550円		55,550	1,904,500
5	1	会議費	研修旅費 24,450円×5人分		122,250	1,782,250
6	16	調査旅費	視察旅費 86,550円×7名分		605,850	1,176,400
7	10	その他の経費	視察先お土産代 2,872円×4ヶ所		11,488	1,164,912
7	10	その他の経費	視察先お土産代の送料 3,560円		3,560	1,161,352
8	7	会議費	研修参加費 11,000円×1人=11,000円 振込手数料385円		11,385	1,149,967
8	16	会議費	研修旅費 24,650円×1人分		24,650	1,125,317
10	9	会議費	研修参加費 8,050円×1人=8,050円 振込手数料385円		8,435	1,116,882
10	18	会議費	研修旅費 23,000円×1人分		23,000	1,093,882
10	28	会議費	研修参加費 8,050円×3人=24,150円 振込手数料385円		24,535	1,069,347
10	28	会議費	研修旅費 23,200円×3人分		69,600	999,747
11	22	会議費	会場使用料		170	999,577
12	10	会議費	プロジェクター使用料		340	999,237
12	10	会議費	講師交通費		3,555	995,682
12	10	会議費	講師謝礼		4,375	991,307
1	15	会議費	研修旅費 24,250円×1人分		24,250	395,997
1	18	その他の経費	視察先お土産代 3,228円×4ヶ所		12,912	383,085

1	18	その他の経費	視察先お土産代の送料 3,840円		3,840	379,245
1	24	調査旅費	視察旅費 81,580円×7人分		571,060	420,247
1	27	会議費	研修参加費 11,385円×1人分		11,385	366,160
1	28	調査旅費	施設使用料 1,700円		1,700	377,545
			合計	2,100,000	1,733,840	366,160

収入金額 2,100,000 円

支出金額 1,733,840 円

差引残額 366,160 円

令和6年 4月 1日

令和6年度 明和 年間計画

1. 先進地視察（調査事項）

- ① 福祉一般（障害者福祉・高齢者福祉）
- ② SDGs（CO2削減・プラスチックリサイクル）ごみ減量・省エネ支援事業等
- ③ 南海トラフ地震や富士山噴火に対する防災対策（防災・減災）
- ④ スポーツ（大会開催・合宿）強化（先進的自治体・教育振興事業）
- ⑤ 教育全般（不登校児童問題・学校統廃合）の取り組み強化

2. 研修会

- ① 議員研修・セミナー等への積極的な参加
- ② 各種学会主催の講演会への参加
- ③ その他

3. 資料等購入

- ① 議員活動関連書籍等の購入
- ② 自治体情報月刊誌の購入

4. 事務用品購入

- ① 筆記用具等・文房具全般
- ② その他

明和（会派名）

代表者 辻村 岳瑠

会 計 平下 尚己

第5号様式（第4条関係）

政 務 活 動 費 交 付 決 定 通 知 書

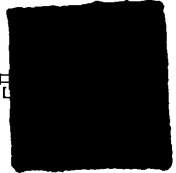
富 行 第 1 1 号 の 2

令 和 6 年 4 月 1 日

明 和

代 表 者 辻 村 岳 瑠 様

富 士 宮 市 長 須 藤 秀 忠



令 和 6 年 4 月 1 日 付 け で 申 請 の あ っ た 政 務 活 動 費 の 交 付 に つ い て 、 下
記 の と お り 決 定 し た の で 通 知 し ま す 。

記

令 和 6 年 度 交 付 決 定 額 2 1 0 万 円

収 入 伝 票

項 目	政 務 活 動 費
金 額	2, 1 0 0, 0 0 0 円
内 容	令和6年度 政務活動費 (1人 300、000円) 会派所属議員 辻村岳瑠・諏訪部孝敏・佐野和也・赤池弘源 芦澤秀典・中野健太郎・平下尚己 300, 000円×7人=21, 000, 000円
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	令和6年 4 月 1 日
摘 要	

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和 6 年 4 月 2 日	決 裁	6 年 4 月 2 日
所 属		氏 名	備 考
1	明和	赤池弘源	
2		中野健太郎	
3		平下尚己	
4			
5			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
東京都渋谷区		東京都渋谷区神宮前1丁目11-11 グリーンファンタジア 7F	全国地方議会議員勉強会 ・ マニフェスト対象最優秀受賞者が語る、 地方議員の政策実現に必要なこと ・ インクルーシブ社会の実現に向けて、 全国の地方議会で活用できる事例集
研 修 目 的			
マニフェスト対象最優秀受賞者が語る、地方議員の政策実現に必要なこと 及びインクルーシブ社会の実現に向けて、全国の地方議会で活用できる事 例集を全国の地方議員と学び、今後の議員活動や地域活動に活かすために 学習する			
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
なし		令和 6 年 4 月 19 日	令和 6 年 4 月 19 日

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	99,660 円
内 容	全国地方議会議員勉強会 ・マニフェスト対象最優秀受賞者が語る、地方議員の政策実現に必要なこと ・インクルーシブ社会の実現に向けて、全国の地方議会で活用できる事例集の参加費
目 的	マニフェスト対象最優秀受賞者が語る、地方議員の政策実現に必要なこと及びインクルーシブ社会の実現に向けて、全国の地方議会で活用できる事例集を全国の地方議員と学び、今後の議員活動や地域活動に活かすために学習する
支 出 先	イチニ株式会社
支払年月日	令和6 年 4 月 5 日
その他特記事項 参加費 33,000円×3人=99,000円 振込手数料 660円 参加者 赤池弘源・中野健太郎・平下尚己 研修先 東京都渋谷区神宮前1丁目11-11グリーンファンタジア 7F 研修名 全国地方議会議員勉強会	

ー 領収書等貼付欄 ー

おやしんネットキャッシュサービス お取扱明細票

⑤ 富士宮信用金庫

お取扱日		お取扱店番・受付番号	
06 04 05		[REDACTED]	
お取引店		口座番号	
[REDACTED]		[REDACTED]	
お取引金額	万円	千円	円
10	00	00	00
お取引内容	振込	通帳員	お取引金額
手数料	¥660		¥99,000*
時刻	13:37		
説明コード		お取引後残高	

お名前	イチニ.カ様
おつり	¥340*
フリガナ	フジノミヤシキカイメイワ様
住所	[REDACTED]
印紙税納付済	

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	40,290 円
内 容	全国地方議会議員勉強会 ・マニフェスト対象最優秀受賞者が語る、地方議員の政策実現に必要なこと ・インクルーシブ社会の実現に向けて、全国の地方議会で活用できる事例集 参加の為の旅費
目 的	マニフェスト対象最優秀受賞者が語る、地方議員の政策実現に必要なこと及びインクルーシブ社会の実現に向けて、全国の地方議会で活用できる事例集を全国の地方議員と学び、今後の議員活動や地域活動に活かすために学習する
支 出 先	赤池弘源ほか2人
支払年月日	令和6 年 4 月 18 日
その他特記事項 参加者 赤池弘源・中野健太郎・平下尚己 研修先 東京都渋谷区神宮前1丁目11-11グリーンファンタジア 7F 研修名 全国地方議会議員勉強会	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

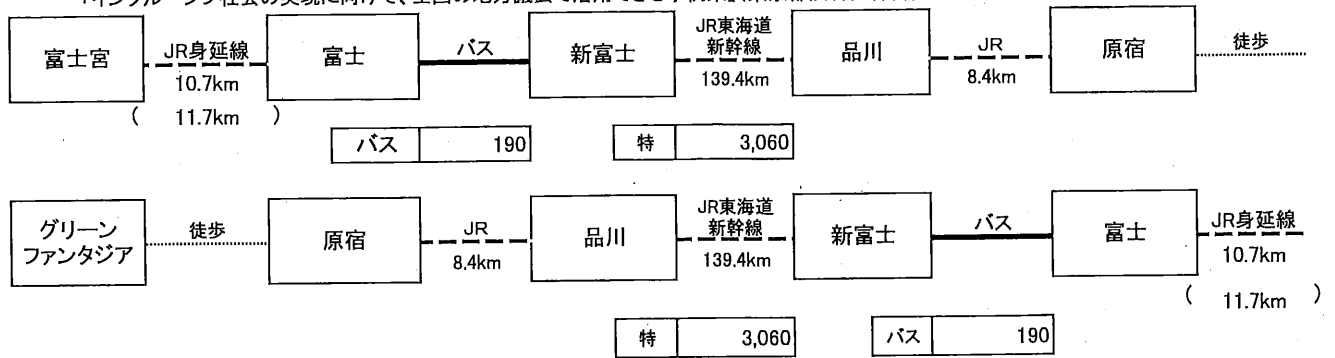
明和

(赤池・中野・平下議員)

● 1 日 目： 令 和 6 年 4 月 19 日 (金)

【研修】全国地方議会議員勉強会「マニフェスト大賞最優秀受賞者が語る、地方議員の政策実現に必要なこと」

「インクルーシブ社会の実現に向けて、全国の地方議会で活用できる事例集」(東京都渋谷区神宮前1丁目11-11グリーンファンタジア7階)



富士宮

JR運賃営業キロ	
317.0	km
5,280	円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,780 円	×	1 人	=	11,780 円
	私 鉄	円						
特 急 料 金	通 常	6,120 円	日・当	1,650 円	×	1 日	×	1 人 = 1,650 円
	閑 散	円						
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
船 賃		円						
車 賃 (バ ス)		380 円	旅費合計	13,430 円/人	×	3 人	=	40,290 円
1人往復運賃合計 A		11,780 円						

研修報告書

会 派 名 明和	
研 修 年 月 日	令和6年4月19日
研 修 名	全国地方議会議員勉強会 「インクルーシブ社会の実現に向けて、全国の地方議会で活用できる実例集」
参 加 者	平下尚己・中野健太郎・赤池弘源
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	講師の龍岡愛梨氏は、東京都議会議員であり、ダウン症の小学5年生の子育て中のシングルマザーだと紹介があった。またテレビ朝日アナウンサー・報道記者の経験も過去に持っていた。インクルーシブ社会の実現を目指す講師にとっては生まれた育ったスウェーデン、また過去に生活してきたアメリカでのインクルーシブ社会と現在住んでいる日本の社会での違いがもとなっていた。講師自身が感じた事を提案し、そして実行してきた事から方法、姿勢を学んだ。私自身も日頃の生活の中で、議員としての取り組み方を参考にしたい。 内容については、インクルーシブ社会の実現の為、様々な取り組みが行われていた。例えば、高福祉・高負担で有名な北欧と日本の税事情から見ると現実には厳しいものを感じたが、誰もが自分らしく輝ける社会の為、東京版「ユースクリニック」を渋谷にオープンさせた。スウェーデンでは、このような子ども・若者が、心や身体、人間関係、性の悩みや困りごとについて相談し、必要があれば無料で支援や治療が受けられる公的な相談医療機関が地域ごと整備されていると言う。日本において、この施設が子ども・若者の相談の場となり成果を上げることで社会に認められ施設の増加に繋がっていく事で社会が変わっていくと考える。このような提案から実現までの話が聞けたが、今の日本社会において展開・継続の為の話をもう少し聞くことができれば良かった。また、インクルーシブ社会の実現の為、話は落書き対策としてのインクルーシブアートについては、実現に向けて多方面の関係者との協議を重ねた事が経緯と共に紹介された。人との関係づくりの大切さや地道な努力の結果を感じた。また、子育ての親の視点から電車内での提案・実現、インクルーシブ公園として2020年砧公園内に日本初「みんなの広場」をはじめ東京都内で広がりを見せていたが、そこではコミュニティづくりとして、ワークショップを通してボランティア活動・プログラム・イベントなどが福祉的要素を取り入れながら進められていた。とても良いことだと思う。富士宮市でも、こうしたワークショップ形式の取り組みの必要性を感じる。 今回の講義を受講したことで、さらにインクルーシブの観点を取り入れることへの必要性・意識を高めることができた。また講師の言葉の中から、 ● 行政に市民の声をいかに伝えるか。(例～私たちの公園をどうしたいか?) ● 仲間を巻き込む。(応援したくなるような雰囲気づくり) ● 諦めないで必要性を伝える。 これらのことが、提案・実践を可能にしてきたと考える。

研修報告書

		会 派 名	明和
研 修 年 月 日	令和6年4月19日		
研 修 名	全国地方議会議員勉強会 「マニフェスト大賞最優秀受賞者が語る、地方議員の政策実現に必要なこと」		
参 加 者	赤池弘源・平下尚己・中野健太郎		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	全国地方議会議員勉強会(全地勉)事務局のイチニ株式会社の所在地(東京都渋谷区神宮前1丁目11-11 グリーンファンタジア7F会議室)にて開催の研修に参加。講師は東京都議会議員の龍円愛梨氏、会派3名を含む7名が受講した。 龍円氏は、東京都渋谷区でダウン症のある小学5年生を育てるシングルマザー。スウェーデンに生まれ、テレビ朝日アナウンサー・報道記者として活動、米国での留学・出産経験を持つ。こうした背景の中で培ったインクルージョンの発想を日本に広げ、誰もが安心して子育てし、生活できる世の中を実現するために立候補・議員活動に取り組んでいる。 インクルーシブ社会の実現という柱に沿った政策提案では、議員としてのポジティブ要素に ①当事者としての活動、特化した政策…多くの当事者とのつながりがあり、当事者の声の代弁者の説得力がある ②専門分野に特化した質問、政策提案…その分野についての発言は信用される ③多角的な視点から分析、比較できる…新しい解決策、考え方や提案、独自性がある が自身にあると解説。議員としての武器になっているとした。 一方で、政策が専門的かつニッチなので票になりにくい、地域とのかかわりが少なくなりがちな政策、海外事例の比較で多くなるカタカナ言葉が理解されづらい—というネガティブ要素についても自己分析を行い、政策ビラやブログ解説を根気強く続け、政策と地域を結び付けた施策提案を行い、アナウンサーや記者だった「分かりやすく伝える」スキルを意識したという。 個別施策の実現手法についても言及した。インクルーシブ公園を作り広げた際は、行政に声を伝えている過程で仲間を巻き込んだ。当事者の仲間たちと自治体へと署名提出、子供たちによるワークショップを開催。結果として、都整備の公園が生まれ、区市町のための補助金創設やガイドラインが作られた。 そのほかの施策もふくめ、論理的に進めるための政策立案シートを独自に用意していた。当事者の夢や願いの中から必要なものを仮説し、理想と政策アイデアを比較しながら、行政側の視点も織り交ぜた課題も抽出してブラッシュアップ。最初の公園整備が完成した後も評価指標を取り入れて、継続した施策となるようにしていると		

	いう。 講師にはインクルーシブ社会の実現に向けた熱意を強く感じる一方で、ロジカルに政策を立案していく冷静さを感じた。 マニフェスト大賞最優秀賞を受賞した実績も納得である。持ちうるスキルを最大限生かしながら、地方議員として大切な「地域の声を聴く」という使命を果たす姿勢は、大いに参考にするものがあった。今後の活動に生かしていきたい。
--	--

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和6年 4 月 1 日	決 裁	令和6年 4 月 1 日
所 属		氏 名	備 考
1	明和	佐野和也	
2		赤池弘源	
3		芦澤秀典	
4		中野健太郎	
5		平下尚己	
6			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
滋賀県大津市		全国市町村国際文化研修所	第1回 新人議員のための 地方自治の基本
研 修 目 的			
新人議員（研修開始日時点で1期目の議員）を対象として、地方議員が理解しておくべき地方自治に関する諸制度や基本的事項を講義や演習を通じて学び、地方議員に求められる役割について多角的に考えて、今後の議員に役立てる為。			
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
全国市町村国際文化研修所		6 年 5 月 8 日	6 年 5 月 1 0 日

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	55,550 円
内 容	市町村議会議員研修[3日間コース] 第1回新人議員のための地方自治の基本 <i>の参加費</i>
目 的	地方自治に関する諸制度について学び、これからの議員活動に必要な知識と情報を学習するため。
支 出 先	全国市町村国際文化研修所
支払年月日	令和6 年 4 月 30 日
その他特記事項 参加費 11,000円×5人=55,000円 振込手数料 550円 参加者 佐野和也・赤池弘源・芦澤秀典・中野健太郎・平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[3日間コース]第1回新人議員のための地方自治の基本	

— 領収書等貼付欄 —

ふじしんキャッシュサービス

お取扱明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
お取扱明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面もご覧下さい。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・機番通番
06-04-30	[REDACTED]
カード発行金庫・店番・科目	口座番号
[REDACTED]	[REDACTED]
万円券(枚) 五千円券(枚) 千円券(枚)	お取引金額
005000005	¥55,000*
お取引種別	お取引後残高
お振込	¥0
手数料 ¥550	ページ 硬貨 ¥550
時刻 09:56	おつり
[REDACTED]	

サ イ) セ"ソコクツチヨウソソケツソウサ"イタ
"ソ様 [REDACTED]
フツ"ノミヤツキ"カイツ"ムキヨク カイハ メイ
ワ様 TEL0544221191

印紙税申告納
付につき富士
税務署承認済

ご利用ありがとうございました。
富士信用金庫

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	122,250 円
内 容	市町村議会議員研修[3日間コース] 第1回新人議員のための地方自治の基本 参加の為の旅費
目 的	地方自治に関する諸制度について学び、これから の議員活動に必要な知識と情報を学習するため。
支 出 先	佐野和也ほか4人
支払年月日	令和6 年 5 月 1 日
その他特記事項 24,450円×5人＝122,250円 参加者 佐野和也・赤池弘源・芦澤秀典・中野健太郎・平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[3日間コース]第1回新人議員のための地方自治の基本	

ー 領収書等貼付欄 ー

別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

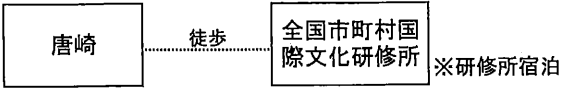
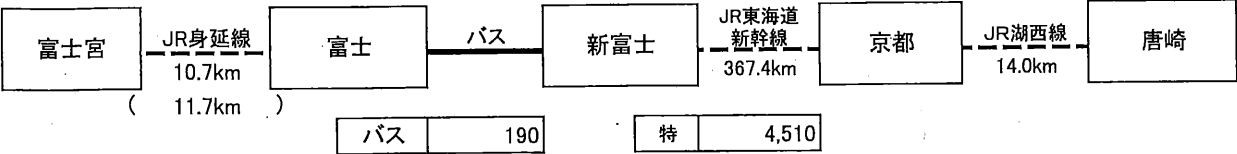
明和

(佐野和也・赤池・芦澤
中野・平下議員)

● 1 日 目： 令 和 6 年 5 月 8 日 (水) 閑散期

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]第1回「新人議員のための地方自治の基本」

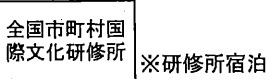


JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

● 2 日 目： 令 和 6 年 5 月 9 日 (木)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

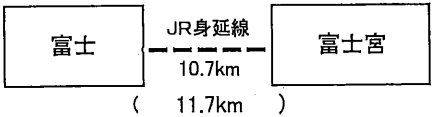
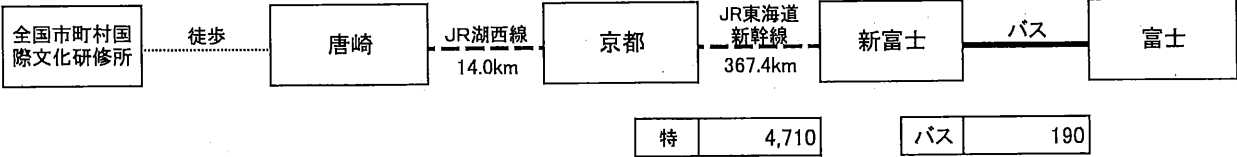
※市町村議会議員研修[3日間コース]第1回「新人議員のための地方自治の基本」



● 3 日 目： 令 和 6 年 5 月 10 日 (金)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]第1回「新人議員のための地方自治の基本」



JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

鉄 道 賃	J R	13,200 円	運賃 A	22,800 円	×	1 人	=	22,800 円
	私 鉄	0 円						
特 急 料 金	通 常	4,710 円	日 当	1,650 円	×	1 日	×	1 人 = 1,650 円
	閑 散	4,510 円						
	繁 忙	円						
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
船 賃		円						
車 賃 (バ ス)		380 円						
1人往復運賃合計 A		22,800 円	旅費合計	24,450 円/人	×	5 人	=	122,250 円

受講料に食費・研修生活動費含む(最終日の昼食は研修経費に含まれていない)

研修報告書

		会派名	明和
研 修 年 月 日	令和6年5月8日（水）～令和6年5月10日（金）		
研 修 名	第1回新人議員のための地方自治の基本		
参 加 者	佐野和也・赤池弘源・芦澤秀典・中野健太郎・平下尚己		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	地方自治制度の基本 概要：これからの地方自治を考える上で地方議員が理解しておくべき地方自治制度に関する基本事項や、地方分権改革の経緯について学び、地方自治を取り巻く最新の動向についても様々な観点から考えることについて、同志社大学 政策学部 大学院総合政策科学研究科 野田遊教授から講義を受けた。 特色：講堂にて約160名参加し、13時～15時35分（15分休憩含）2コマに分け、地方自治制度の基本について①地方分権②財政③行財政改革④市町村合併⑤広域連携⑥行政編成⑦自治体議会⑧自治体組織⑨ガバナンス⑩政策⑪広報についての講義 感想：学生時代の授業で受けた「社会科」を思い出しながら地方自治（住民自治＝市町村民が政策を形成と団体自治＝国や府県ではなく市町村が政策を形成）を再確認できました。地方分権の課題（財政・財源）は全国での課題であり、各市町村で特色（ポテンシャル・資源）を出さなければならないと痛感。①～⑪について浅く広くの講義ではありましたが、非常にわかりやすい研修でした。		

研修報告書

会派名 明和	
研修 年 月 日	令和6年5月8日
研修名	地方議会制度について 令和6年度市町村議会議員研修〔3日間コース〕 第1回 新人議員のための地方自治の基本
参加者	佐野和也・芦澤秀典・平下尚己・中野健太郎・赤池弘源
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	講師については、全国市議会議長会企画議事部 法制主幹 本橋謙治氏から企画議事部 篠田光洋氏に変更があったがタイトルについては変更はなかった。 参加者は募集人数60人を大幅に超え、議員160人が受講となった。北は室蘭市議会から南は鹿児島市議会、また多くの町村議会の方が参加していた。 - 地方議会の権限 (1) 議決権 (2) 監視権 (3) 選挙権 (4) 意見表明権他 - 地方議員の権利 (1) 臨時会の招集請求権 (2) 議案の提出権他 - 地方議員の義務 (1) 会議に出席する義務 (2) 常任委員就任の義務他 - 議員の発言と法的責任等 (1) 発言の種類 (2) 発言の方法 (3) 発言の制限他 - 議員の兼職・兼業の禁止 (1) 兼職の禁止 (2) 兼業の禁止 - 本会議の運営 (1) 地方議会の会議 (2) 正副議長、仮議長、臨時議長の権限と役割他 以上、議員として大事な事を多く学んだ。一つ挙げると、1 地方議会の権限 (4) 意見表明権の中で、正副議長選挙における立候補制についての講義があった。現状では、立候補制度はないとのことだ。議員全員が候補者になるという事だった。覚えておきたい。 特に印象に残った事として、講義の冒頭で、地方議会・議員が求められているものとして、昭和（戦前）に出された田口弼一著「議員のあり方」が紹介された。 ・代表の観念を会得しなければならぬ ・他の議員の意見を傾聴し検討しなければならぬ ・利己的な行動があってはならぬ ・執行機関と協力して行政の成績を挙げねばならぬ 古い言葉だが今でもしっかり通用する、力強い言葉だ。大切にしたい。 今回、全国市町村議会の方と交流を通し、様々な地域の事情を直接伺うことができた。

研修報告書

会 派 名 明和	
研 修 年 月 日	令和 6 年 5 月 9 日
研 修 名	全国市町村国際文化研究所 令和 6 年度市町村議会議員研修 【新人議員のための地方自治の基本】 「地方議会と自治体財政」
参 加 者	佐野和也・芦澤秀典・赤池弘源・平下尚己・中野健太郎
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	静岡県立大学経営情報学部教授の小西敦氏が講師を務め、予算・決算の仕組みや地方交付税制度など、市町村議員が知っておかねばならない自治体財政の仕組みやポイントを基礎から学んだ。 令和 5 年 5 月、地方自治法の一部改正がなされ、「普通地方公共団体の重要な意思決定に関する事件を議決し、並びにこの法律に定める検査及び調査その他の権限を行使する」「住民の負託を受け、誠実にその職務を行わなければならない」などと、地方議会の役割、議員の職務などが明確化された。 これにより、地方議会の権限の一部である予算の決定と決算の認定の重要性がはっきりと示されたといえる。 公共財の理論から、生存あるいはより人間的な生活のために人々が集団的に求めるものがニーズであり、ニーズを決めるのは、民主主義的手続きによって行われる。それは議会の多数派の意志であり、まさに議決がその意味を持つ。 一方で、少数派であっても、議員は公開の審議における議論は可能であり、ニーズ判断に影響し得る。 このことから会派構成の大小にかかわらず、財政の議論に加わり、市民ニーズに従った意見を挙げていく必要がある。 元自治省(現総務省)官僚だった視点から、地方財政計画や地方交付税制度の解説もされた。 自治体財政については、公開され、整理されている情報が豊富にあり、類似団体との比較も示されていること、財政状況資料集などを用いて財政状況の把握・分析を行うことが可能であり、各種健全化指標の説明があった。 地方交付税制度の中で、法定外普通税については地財計画に計上されないものであることから「100%自らの目的で利用できるフリーハンドな歳入」と指摘。熱海市の宿泊税導入を例に挙げ、地方交付税が減額となって精算されることがないため「汗をかけば報われる仕組み」があるとのことだった。 そのほか、予算・決算審査の手法について質問した。全国を見渡すと、特別委員会でなく、常任委員会と位置付けている市議会が増えている理由を尋ねたほか、議長や監査委員である議員が審査に加わるべきでない理由について説明を受けた。 改正地方自治法の施行がなされた中、予算審査・決算認定に携わる立場の重要性を再確認する貴重な機会となった。

研修報告書

会派名		明 和
研 修 年 月 日	令和6年5月8日（水）～5月10日（金）	
研 修 名	令和6年度市町村議会議員研修〔3日コース〕 第1回「新人議員のための地方自治の基本」	
参 加 者	佐野和也 赤池弘源 平下尚己 中野健太郎 芦澤秀典	
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	令和6年5月9日（木）13:30～14:40 報告作成者：芦澤秀典 【講義】地方議会と政策 ～条例検討を中心に～ 【講演者】新潟大学副学長・経済科学部教授 宍戸邦久 【参加議員】160名 第1 法令の体系と一般原則 1 法令の種類 (1) 法とは 「強要性を有する社会生活の規範」で「社会的支持を得ているもの」 (2) 成文法 国の法 ○国の法 ・憲法：国の最高法規 ・法律：国会が制定 ・政令：内閣が制定 ・府省令：内閣府又は各省の長が制定 ※憲法、法律、政令、府省令の順に効力は優先 ○地方公共団体の法 ・条例：地方公共団体が議会の議決を経て制定 ・規則：地方公共団体の長や行政委員会が制定 (3) 不文法（慣習法 条理 判例） ○慣習法：慣習が法として規範性を持つに至ったもの ○条理：社会の一般原則が法として規範性を持つもの ○判例：・過去の裁判所での判断が先例となってその後の裁判の基準となるに至ったもの ・特に最高裁判所の判断は、その後の下級審の判断に強い影響力がある。 2 法の一般原則 ①平等原則 ②比例原則 ③信義誠実の原則 ④権利濫用の禁止の原則 第2 法令の解釈 (1) 法令の解釈 (2) 法令解釈の方法 ①文理解釈 ②論理（目的論的）解釈	

	ア拡張解釈 イ縮小解釈 ウ類推解釈 エ反対解釈 (3) 法令間に矛盾抵触がある場合の解釈原理 ①上位法・下位法 →形式的効力の上位の法令は下位の法令に優先する。 ②後法・前法 →形式的効力が等しい法令相互間では「後法は前法を破る」 ③特別法・一般法 →形式的効力が等しい法令相互間では「特別法は一般法を破る」 (4) 法令解釈の主体 ○最終の有権的解釈は裁判所の権限。 ○機関委任事務の廃止と通達の失効 ○義務づけ・枠付けの見直し ○国と自治体の間で法令の解釈について争いがある場合 【演習】 14:55～16:30 各市町村の条例を検討（意見交換） 実際に市町村で施行されている下記の条例について、各班で検討、討議を行う。 ○弥彦村議会基本条例（担当：1班～9班） ○大津市がん対策推進条例（担当：10班～18班） ○宮崎市深夜における花火の規制に関する条例（担当：19班～27班） 【演習発表】 16:45～17:30 上記の条例の討議の発表を3つの班が行う。質疑を通して各条例立案にあたっての視点や考え方等に対する理解を深めた。 【所感】 前半の講義については、条例審査や条例立法にあたって基本的な視点や考え方等をいろいろな例文を基に説明していただき、大変勉強になった。 後半の演習では、条例についての活発な意見が出された。今までにない研修のやり方であったが各議員からは好評であった。 今回の研修では、多くの議員と交流する場が設けられ、他の市町村の問題等を知る上で非常に有意義な研修であった。 終了後には、各議員間で「また、お会いしましょう。」という挨拶があちらこちらで見受けられた。 以上
--	--

研修報告書

		会 派 名	明 和
研 修 年 月 日	令和 6 年 5 月 8 日～5 月 10 日		
研 修 名	令和 6 年度市町村議会議員研修「3 日間コース」 第 1 回「新人議員のための地方自治の基本」		
参 加 者	佐野和也・芦澤秀典・赤池弘源 平下尚己・中野健太郎		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	「これからの地方議員に期待されていること」 地方分権改革を進める為に、行財政改革としておこなわれた通称「三位一体の改革」についての説明を受けた。これにより国庫補助負担金の廃止・縮減や地方交付税の削減、地方への税源移譲などにより、人口が多く財源に余裕のある自治体にとっては自治体で差配できる予算額が増加し、行政として運営の幅が広がるが、地方の財源が少ない自治体は予算額が少なくなり、行政の運営に影響が出る改革であったと学んだ。一方、法定外目的税の額が自治体運営に大きく影響するようになり、地方の自治体における「ふるさと納税」の重要性を再認識出来た。富士宮市における「ふるさと納税」の今後の税収をいかに増やすかが課題となる。 議員の位置づけと議員報酬も地域によって様々であり市町村の中でも市議は「専門職」として扱われるが、町村議は「名誉職」として理解され町村長の 3 割程度の報酬しか得られず、なり手不足が問題となっている。これは専業としてやっていけず兼業しなければならないが、町村では働き場所が少なく、自営業や会社の役員しか無い為であり、財政における議会費の負担が大きくなる町村議では「専門職」は厳しいようだ。地方議会・議員に関する今後の課題としては、議員専業化（通年議会の方向性）が可能なのか、専業化できないことを前提とした（夜間休日議会の方向性）を目指すのかは、一般会計における議会費の割合に影響する。 専業化した方が、若い人や給与所得経験者などが議員になりやすくなる一方、非専業の議員からなる夜間休日議会の方が有権者の関心を引く可能性もあり、どのようにして議員の多様性を確保するのかが問題であり、議会の在り方が富士宮市としても今後問われてくると感じた。		

視 察 申 請 書

		予算項目		調 査 旅 費	
起 案		2024年5月30日		決 裁	
				2024年5月30日	
所 属		氏 名		備 考	
1	明 和	諏訪部 孝敏		市 議 会 議 長	
2		辻村 岳瑠		会 派 代 表 者	
3		佐野 和也			
4		赤池 弘源			
5		芦澤 秀典			
6		中野 健太郎			
7		平下 尚己		会 派 会 計 者	
視察市町村		視 察 先		目 的	
鹿児島県南九州市		知覧武家屋敷庭園		観光誘客の取り組みの視察のため	
鹿児島県鹿児島市		鹿児島市役所		火山防災トップシティ構想の視察のため	
鹿児島県鹿児島市		鹿児島市役所及び現地		「鹿児島市加治屋まちの杜公園」公園PFI事業の視察のため	
熊本県熊本市		熊本市役所及び現地		熊本地震における文化財保護と復旧整備の視察のため	
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
熊本県市山之内 2-7 ホテルマイステイズ天文館		2024 年 7 月 22 日		2024 年 7 月 24 日	
熊本県熊本市中央区辛島 4-39 ネストホテル熊本					

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	605,850 円
内 容	南九州市、鹿児島市、熊本市行政視察のための旅費
目 的	鹿児島県南九州市 知覧武家屋敷庭園:観光誘客の取り組みの視察のため 鹿児島県鹿児島市 火山防災トップシティ構想の視察のため 「鹿児島市加治屋まちの杜公園」公園PFI事業の視察のため 熊本県熊本市・熊本城 熊本地震における文化財保護と復旧整備の視察のため
支 出 先	辻村岳瑠ほか 6人
支払年月日	令和6 年 6 月 16 日
その他特記事項 辻村岳瑠、諏訪部孝敏、佐野和也、赤池弘源、芦澤秀典、中野健太郎、平下尚己 の7人	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

領 収 証

富士宮市議会 明和 様

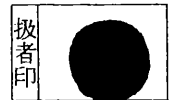
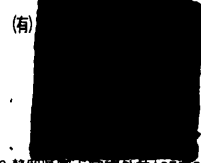
金 額			百万		千		円
			7	1	7	6	7 5 0

但し 7/22 ~ 24 視察航空券代として
上記の金額正に領収致しました

令和 6 年 4 月 30 日

T1080102016712

〒418-0006 静岡県富士宮市外神1679-2
TEL.0544-58-1513 FAX.0544-58-4356



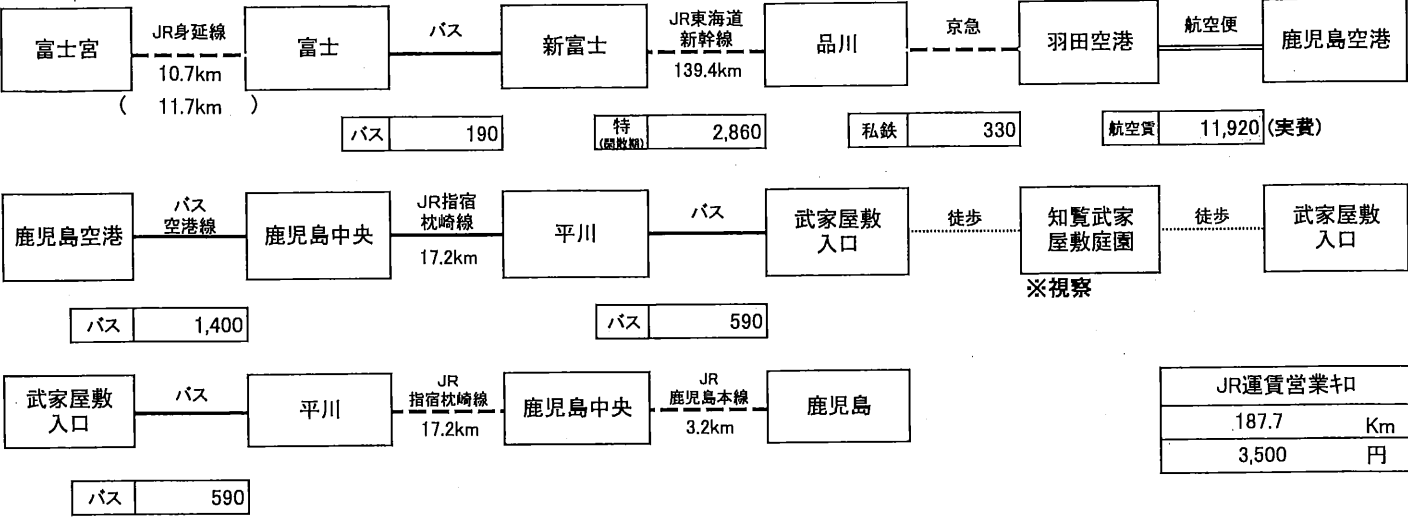
旅費計算書(政務活動費)

明和

(諏訪部・辻村・佐野和也
赤池・芦澤・中野・平下議員)

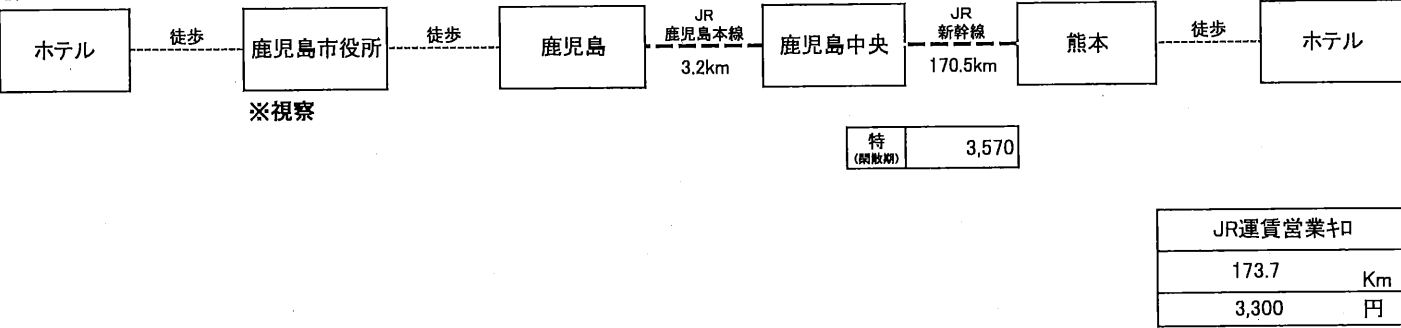
● 1 日 目：令和6年7月22日(月)閑散期

【視察】知覧武家屋敷庭園(鹿児島県南九州市知覧町郡13731番地1)



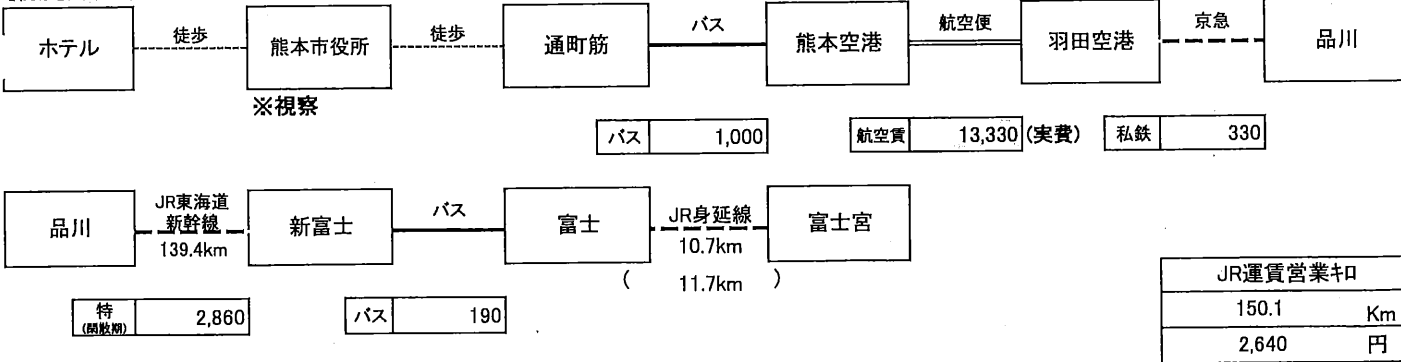
● 2 日 目：令和6年7月23日(火)閑散期

【視察】鹿児島市役所(鹿児島市山下町11-1)



● 3 日 目：令和6年7月24日(水)閑散期

【視察】熊本市役所(熊本市中央区手取本町1番1号)



鉄 道 賃	J R	9,440	円	運賃 A	48,600 円 × 1 人 = 48,600 円						
	私 鉄	660	円		日 当	1,650 円 × 3 日 × 1 人 = 4,950 円					
特 急 料 金	通 常		円								
	閑 散	9,290	円								
	繁 忙		円								
航空運賃	料 金	25,250	円	宿泊料	16,500 円 × 2 夜 × 1 人 = 33,000 円						
船 賃			円								
車 賃 (バ ス)		3,960	円								
1人往復運賃合計 A		48,600	円	旅費合計	86,550 円/人 × 7 人 = 605,850 円						

視察報告書

会 派 名 明和	
視 察 年 月 日	令和 6 年 7 月 2 2 日 月曜日
視 察 先	鹿児島県南九州市 商工観光課 知覧武家屋敷庭園
参 加 者	辻村岳瑠、諏訪部孝敏、佐野和也、芦澤秀典、 赤池弘源、平下尚己、中野健太郎 計 7 人
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	〈観光誘客の取組について〉 南九州市の概要 1 沿革等 平成19年12月1日 市制施行 揖宿郡頴娃町、川辺郡知覧町、川辺郡川辺町の3町が合併 交流都市：福岡県北九州市、佐賀県小城市、青森県平川市 市の花：ひまわり 市の木：桜、茶 市のキャッチコピー：みな、みりよく！ 2 面積 357、91km²（東西22km 南北29km） 3 人口・世帯数（令和5年度） 人口：総数30,973人（男14,563人 女16,410人） 世帯数：14,100世帯 特色：南九州市の観光は、昭和40年代前半に知覧武家屋敷庭園群が文 献で紹介されたことがきっかけとなっている。昭和48年には地 元のバス会社が、鹿児島市からの定期観光コースに知覧武家屋敷 庭園群を組み込み「薩摩の小京都、知覧」と言われるようになった。 昭和50年には、知覧特攻遺品館が開館している。 効果：武家屋敷のある麓地区18.6haは、昭和56年に「重要伝統的 建造物群保存地区」に選定され、7つの庭園は国の「名勝」に指 定される。その7つの庭園の所有者等で「知覧武家屋敷庭園有限 責任事業組合」を組織し、入園料の徴収やPR事業、生垣の剪定、 病害虫対策を行っている。 課題：鹿児島空港からの直行バスが廃止、新型コロナウイルス拡大の影響 もあり、近年は観光客の減少が続いている。また、市内には宿泊 施設が少ない。公共交通機関によるアクセスの確保も大きな課題 となっている。 感想：知覧武家屋敷庭園群を中心とする知覧の市街地は、道路や公園等 のインフラ整備を行っており、歴史と景観を活かした潤いのある 街並みであった。街路樹に刈り込まれたイヌマキの植栽、鯉の泳 ぐ水路整備、和風の街路灯や石灯籠の設置、武家屋敷や平和をモ チーフに和風で落ち着いた佇まいの町づくりには目を見張るもの があった。

視察報告書

会 派 名 明和

視 察 日 年 月 日	令和 6 年 7 月 23 日 火曜日
視 察 先	鹿児島市役所
参 加 者	辻村岳瑠、諏訪部孝敏、佐野和也、芦澤秀典、 赤池弘源、中野健太郎、平下尚己 計 7 人
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	概要：鹿児島市役所で火山防災トップシティ構想について、鹿児島市市議会事務局政務調査課高橋聖子課長の挨拶のあと、①鹿児島市・桜島の概要、②繰り返す大規模噴火と現在の活動、③大量軽石火山灰対策（大規模噴火時）、④火山防災トップシティの推進について、鹿児島市危機管理局危機管理課 脇田浩任課長、鹿児島市危機管理局 井口正人火山防災専門官 他 3 人から説明を受けた。 概要、特色 ①鹿児島市は平成 16 年に吉田町・桜島町・喜入町・松元町・郡山町と合併し高次の都市機能を有した南九州の中核都市であり、人口は約 60 万人である。桜島は鹿児島市街地から、わずか 4Km で桜島フェリー（24 時間運航）を使えば 15 分である。 ②桜島は何度も大規模噴火を繰り返しており、記録が残されているものだけでも 4 回が確認されている。大正噴火（1914～1915 年）により流れ出た溶岩流が海峡を埋め、一つの島であった桜島が、大隅半島と陸続きになった。日常的に噴火活動を続けており市民が桜島と共生しているが、2011 年には 996 回の過去最高の記録を最後に年々爆発回数は減少傾向にあり 2023 年は 89 回であった。桜島火山ハザードマップを活用しながら大規模噴火に備え毎年 1 回は避難訓練を行っている。桜島の島外避難について、これまで各避難港からフェリーとしていたものを令和元年度にバスとフェリーを組み合わせた避難に見直されている。 ③関係機関協力の下、大量の軽石・火山灰が堆積した状況下において多くの車両にて走行実験を実施。4WD ならばなんとか走行可能であり、FF 車や FR 車では走行不能であることがわかり、溶岩だけでなく、火山灰への対策も必要であることがわかった。 ④大規模噴火でも「犠牲者ゼロ」を目指す防災対策 8 つ ・桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練） ・桜島火山爆発総合防災訓練（避難所体験、展示訓練） ・大量軽石火山灰対応計画の周知 ・桜島火山ハザードマップと町別避難マニュアルの配布 ・桜島における避難施設（退避舎、退避壕） ・桜島現在地表示等案内板 ・桜島避難施設誘導案内看板 ・避難促進施設

次世代に「つなぐ」火山防災教育 4 つ

- ・火山防災教育教材の作成、配布
- ・親子で学ぶ桜島訪問体験学習
- ・専門家派遣授業
- ・火山防災スペシャリスト養成研修

「鹿児島モデル」による世界貢献 4 つ

- ・火山関係会議への参加、情報発信
- ・火山防災強化市町村ネットワーク（富士宮市も参加）
- ・海外への情報発信
- ・他都市等からの視察対応

課題：島外避難の場合、島内約 3,000 人の居住者が、基本的避難方法として、バス乗車フェリー避難と、バス乗車陸路避難であるが、桜島フェリーは、過去には 6 隻運航していたとのことであるが、現在は 3 隻運航であり有事には 4 隻となる。今後さらに減隻となると、避難方法について見直す必要があると思われる。

早期に火山灰予測システムの開発を、国で開発していただきたいとのことであった。

感想：富士宮市においても、富士山は約 300 年噴火しておらず、マグマを蓄えているはずであり、いつ大規模噴火がおきても不思議ではないとの井口火山防災専門官から話があったので、限りある予算ではあるが、保険としての防災施設等の役割も視野に入れながら富士宮市の発展に寄与していただきたい。

視察報告書

		会 派 名	明和
視 察 年 月 日	令和 6 年 7 月 23 日 (火)		
視 察 先	鹿児島県鹿児島市		
参 加 者	諏訪部孝敏・辻村岳瑠・佐野和也・芦澤秀典・平下尚己 ・中野健太郎・赤池弘源		
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	【鹿児島市加治屋まちの杜公園】公園 PFI 事業について 公園概要：所在地 鹿児島市加治屋町 20 番 1 整備費 約 6 億円 公園面積 約 1.37ha 公園種別 都市緑地 特 色：多様な利用者に配慮した施設 「ふれあいの庭」「風の丘（友好の森）」「みんなの原っぱ」幼児向けの広場では、安全対策として柔らかいゴムチップ舗装で仕上げ、フェンスで囲われている。 「都市の杜」の創出として どんぐりの木、姉妹都市等の市の木や現地に植生している樹木また、シンボルツリーのアコウは地域色が出て、素晴らしい。イチョウ並木は、夜間ライトアップされる。市民が憩い、潤いや安らぎを感じられる空間づくりとなっている。 防災機能の整備として 交流広場は一時的な避難場所となり、トイレベンチ・マンホールトイレも整備されている。 今回、2017 年に都市公園法の改正により創設された「Park-PFI」を活用し、園内に特定公園施設を設け、民間活用エリアの整備を行う。その中で業者は、市役所食堂他多数の飲食店を営む「(株)グッドフェローズダイニング」が選定された。 効 果：民間事業者の視点を取り込むことで、公園の魅力を更に引き出した。また、隣接する甲突川左岸との連坦性を考慮し、「鹿児島中央駅エリア」と「天文館エリア」をつなぎ、中心市街地における回遊性の向上に寄与した。 課 題：来客実績、売上は減少した時期もあったが、一定の売り上げを維持しているが、今後も若者の関心に応えるようなサービスを提供し続けること。周囲の広場や植栽維持管理。 感 想：こちらの店舗「ブラックスミス プレミアムガーデン」はオープンカフェレストランである。BBQ サービスの提供が行われている。本来、BBQ は、郊外で行われ、準備等も大変であるが、ここでは、若者にとってマイナス部分を取り除き、街中で手軽に出来る BBQ とした。「食」は人と人をつなぐ。現代の若者の交流の場としてこのような施設が今後も支持されると感じた。		

視察報告書

		会 派 名	明 和
視 察 年 月 日	令和 6 年 7 月 24 日(水)		
視 察 先	熊本県熊本市		
参 加 者	辻村岳瑠・諏訪部孝敏・佐野和也・芦澤秀典 赤池弘源・平下尚己・中野健太郎		
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	「熊本地震における文化財保護と復旧整備について」 平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震によって甚大な被害を受けた熊本城について、これまでの取り組みと今後の復興に向けた整備方針について、熊本市庁舎市議会棟でのレクチャー、熊本城での現地調査を行った。 同城は慶長 12(1607)年に加藤清正により築城され、寛永 9 (1632)年の加藤家改易以降は明治維新まで細川家によって維持管理された。明治 10 年の西南戦争の際は主戦場の一つとなり、大小天守や本丸御殿などの建物が消失。昭和 8 年の史跡・国宝指定を経て、現在は国の特定史跡・重要文化財建造物に指定され、文化財と公園として、地元市民に親しまれ、観光地としても広く知られている。 平成 28 年の熊本地震では、○国指定重要文化財建造物 13 棟○再建・復元建造物 20 棟○石垣崩落・膨らみ・緩み 517 面○地盤陥没・地割れ 70 ヲ所○利便施設・管理施設 26 棟一に被害が発生。熊本市では同 30 年に「熊本城復旧基本計画」を策定。計画 5 年目の令和 4 年度に達成状況や課題などを検証し、計画期間の見直しを含めた改定を行っている。復旧基本計画の 7 つの方針は以下の通り。 ▽被災した石垣・建造物等の保全 ▽復興のシンボル天守閣の早期復旧 ▽石垣・建造物等の文化財的価値保全と計画的復旧 ▽復旧過程の段階的公開と活用 ▽最新技術を活用した安全対策の検討 ▽100 年先を見据えた復元への礎づくり ▽基本計画の策定・推進 本報告書では特に、「復旧過程の段階的公開と活用」について取り上げる。 熊本地震後、令和元年 10 月から段階的に園内の公開を実施し、令和 3 年 6 月からは天守閣内部の公開を開始し、入園者は年々増加傾向にある。全国の城郭で全国一位となった平成 20 年(222 万人)には及ばないものの、令和 5 年度には 135 万人を超えた。 これは文化財保護と観光施設(都市公園)としての役割を同時進行させたことによる実績であり、園内には安全性の確保が行き届いた配慮がなされている。 具体的には、復旧工事との調整を図りながら、当初、日曜、祝日に限定した天守閣エリアを一般に特別公開。熊本城の被害状況や復		

旧プロセスを安全に観覧できるように、工事が行われない日曜・祝日に工事用スロープを利用した公開を実施。工事用通路を一般見学者に開放するアイデアだった。現在は特別見学通路の整備を行い、この通路を利用して、観光客に熊本城の復旧過程を見学してもらえる工夫がなされている。

また、全国から寄付を募る「復興城主」制度を実施し、個人寄付者に対する優待証や天守閣内のデジタル芳名板など来園を呼び込む仕掛けが功を奏していると推察される。

富士宮市では、世界文化遺産富士山の構成資産をはじめとする文化財が数多く存在している。

熊本城は土地が市所有だけでなく、財務省、文科省、加藤神社の所有、建物が文化庁など、権利関係が分散しているなど、災害復旧での調整が必要になったという。

文化財の管理については、国宝や県、市指定文化財は基本的に文化庁、県・市文化課などによって把握、一定の基準をもった防災対策が取られており、災害の破壊程度や指定のされ方によって対応は異なるものの、被災の把握や修復については文化庁や自治体に対応し、費用についても一定の補助が行われる。

また登録有形文化財は、被災後の修復等は指定文化財と異なり国や自治体は助言が中心で、修復は所有者や地域住民が主体的にかかわることが求められる。

熊本市と富士宮市では其々で置かれた状況が異なるため、一概に防災対策を反映させることはできないが、いずれにせよ、シンボルとなっている文化財の復旧・復興は多くの市民に元気を与える存在であり、文化財の在り方を理解、判断していかなければならないと感じた。

支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	11,488 円
内 容	九州視察の際のお土産代
目 的	視察先へのお土産品として ・南九州市議会 ・鹿児島市議会(2つ) ・熊本市議会
支 出 先	合資会社 藤太郎本店
支払年月日	令和6 年 7 月 10 日
その他特記事項 2872円×4ヶ所=11,488円	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

No. _____

富士宮市議会
全派明和 様

令和6年7月10日

✱ ￥ 11,488

但 □

☒ 飲食料品等(軽減税率対象)

お菓子代とい

上記正に領収いたしました

静岡県富士宮市大宮町8番3号

合資 藤太郎本店

代表社員 後藤 泰輔

登録番号 1080103000780

内 訳		
税率	税込金額	消費税額等
軽減8%	11,488	880
税率	税込金額	消費税額等
%	/	/

支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	3,560 円
内 容	九州視察の際のお土産代の送料
目 的	視察先へのお土産品として ・南九州市議会 ・鹿児島市議会(2つ) ・熊本市議会
支 出 先	合資会社 藤太郎本店
支払年月日	令和6 年 7 月 10 日
その他特記事項	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

No. _____

富士宮市議会
会 明 和 様

R6 年 7 月 10 日

✱ 73,560-

但 ☒ 送料代として ☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

内 訳		
税率	税込金額	消費税額等
10%	3,560	323
税率	税込金額	消費税額等
%	/	/

APIC4 DR322K

静岡県富士宮市大字町8番3号
合資 藤太郎本店
代表社員 後 藤 泰 輔

登録番号 J1080103000780

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案	令和6年 7 月 16 日		決 裁	令和6年 7 月 16 日	
所 属		氏 名		備 考	
1	明和	平下尚己			
2					
3					
4					
5					
6					
研修市町村		研 修 先		研 修 名	
滋賀県大津市		全国市町村国際文化研修所		市町村議会議員研修[3日間コース] 地方議員のための政策法務 ～条例提案に向けて～	
研 修 目 的					
地域住民の代表である地方議員には、多様な住民ニーズに適切に対応した地域づくりに資するため、自らが政策を提案し、条例を立案する「政策法務能力」が求められているため ①講義により、地方議員に必要とされる政策法務に関する基礎的な知識を学ぶ。 ②グループ演習で、条例文案などを作成し、条例立案を実際に体験する。 上記を中心に政策提案に必要な能力を養うため。					
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
全国市町村国際文化研修所		6 年 8 月 19 日		6 年 8 月 21 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	11,385 円
内 容	市町村議会議員研修[3日間コース] 地方議員のための政策法務 ～条例提案に向けて～ の参加費
目 的	地域住民の代表である地方議員には、多様な住民ニーズに適切に対応した地域づくり に資するため、自らが政策を提案し、条例を立案する「政策法務能力」が求められている ため ①講義により、地方議員に必要とされる政策法務に関する基礎的な知識を学ぶ。 ②グループ演習で、条例文案などを作成し、条例立案を実際に体験する。 上記を中心に政策提案に必要な能力を養うため。
支 出 先	全国市町村国際文化研修所
支払年月日	令和6 年 8 月 7 日
その他特記事項 参加費 11,000円×1人=11,000円 振込手数料 385円 参加者 平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[3日間コース]地方議員のための政策法務～条例提案に向けて～	

ー 領収書等貼付欄 ー

ふじしん キャッシュサービス
 お取引明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
お取引明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面にも貼付
下さい。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・秘密通番
06-08-07	[REDACTED]
カード発行金庫・店番・科目	口座番号
[REDACTED]	[REDACTED]
****-****	****-****
万円(枚)	お取引金額
001000002	¥11,000*
お取引種別	お取引残高
お振込	¥0
手数料	¥385
時刻	13:31
おつり	¥615

[REDACTED]

ザイ)セ"ソコクシチヨウリソクソウサ"イタ
"ソ様 [REDACTED]
フツノミヤツキ"カイツ"ムキヨク カイハ メイ
ワ様 TEL0544221191

ご利用ありがとう
ございました。

富士信用金庫

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	24,650 円
内 容	市町村議会議員研修[3日間コース] 地方議員のための政策法務 ～条例提案に向けて～ 参加の為の旅費
目 的	地域住民の代表である地方議員には、多様な住民ニーズに適切に対応した地域づくりに資するため、自らが政策を提案し、条例を立案する「政策法務能力」が求められているため ①講義により、地方議員に必要とされる政策法務に関する基礎的な知識を学ぶ。 ②グループ演習で、条例文案などを作成し、条例立案を実際に体験する。 上記を中心に政策提案に必要な能力を養うため。
支 出 先	平下尚己
支払年月日	令和6 年 8 月 16 日
その他特記事項 24,650円×1人＝24,650円 参加者 平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[3日間コース]地方議員のための政策法務～条例提案に向けて～	

－ 領収書等貼付欄 －

別紙のとおり

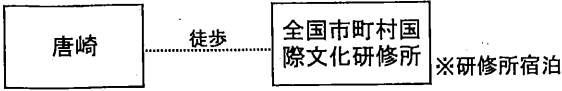
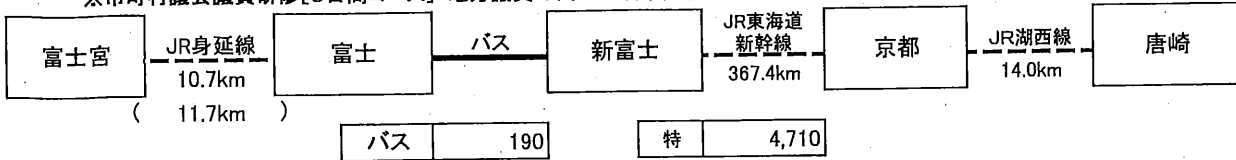
旅費計算書(政務活動費)

明和
(平下議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 8 月 19 日 (月)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]「地方議員のための政策法務～政策実現のための条例提案に向けて～」

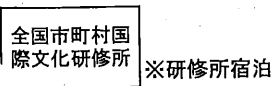


JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

● 2 日 目 : 令 和 6 年 8 月 20 日 (火)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

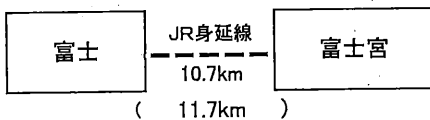
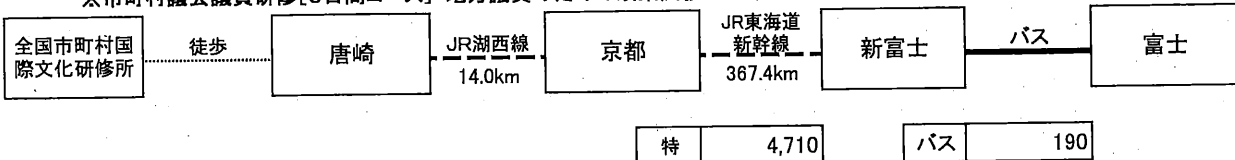
※市町村議会議員研修[3日間コース]「地方議員のための政策法務～政策実現のための条例提案に向けて～」



● 3 日 目 : 令 和 6 年 8 月 21 日 (水)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]「地方議員のための政策法務～政策実現のための条例提案に向けて～」



JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

鉄 道 賃	J R	13,200 円	運賃 A	23,000 円	×	1 人	=	23,000 円
	私 鉄	0 円		日 当	1,650 円 ×	1	日 ×	1 人 =
特 急 料 金	通 常	9,420 円						
	閑 散	円						
	繁 忙	円						
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円 ×	0	夜 ×	1 人 =	0 円
船 賃		円						
車 賃 (バ ス)		380 円	旅費合計	24,650 円/人	×	1 人 =	24,650	円
1人往復運賃合計 A		23,000 円						

受講料に食費・研修生活動費含む(最終日の昼食は研修経費に含まれていない)

研修報告書

		会派名	明和
研 修 年 月 日	令和6年8月19日（月）～令和6年8月21日（水）		
研 修 名	市町村議会議員研修[3日間コース] 地方議員のための政策法務 ～条例提案に向けて～		
参 加 者	平下尚己		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	概要：初日に、地方議員による条例立案の意義や、地方議員に必要とされる政策法務の基本的な内容・考え方を新潟大学副学長・経済科学部 宍戸邦久教授から講義を受け、条例を立案するためのポイントとなる事項について、関西学院大学法学部 小川大和教授から学び、グループ別テーマや班員との演習の進め方の説明を、再度新潟大学副学長・経済科学部 宍戸邦久教授から説明を受けた。 二日目は各グループに分かれ、グループ毎のテーマ（私のグループは「ごみ屋敷等生活環境に関する条例」）に基づき、条例化すべき政策内容の検討、条例文案の作成に取り組んだ。 三日目は、前日の演習で作成した条例文案等をグループごとに発表し、参加者で意見交換や質問・答弁・再質問等行い、講師（私のグループは関西学院大学法学部 小川大和教授）に講評していただいた。 特色：初日、講堂にて約70名参加し、13時～14時30分「地方議員と政策法務」について①政策法務とはと題し、政策法務の意義・今なぜ政策法務か（政策法務の背景）・条例制定の動向②議会と政策法務と題し、地方議会改革に関連する近年の地方自治法の改正・地方議会改革の背景・地方議会改革と政策法務についての講義を受けた。 政策法務とは、自治体が目的を達成するために、法的な観点からの合理的な判断を行いながら、仕事を行うこと。 アイスブレイクとして心理（？）クイズも講義の途中に取り入れていた。 14時45分～15時35分「法制執務の基本」について実務的なことをメインに法令の体系と一般原則・法令の解釈・条例立案の留意点について講義を受けた。 条例とは、地方公共団体が議会の議決を経て制定 憲法94条「法律の範囲内で条例を制定することができる。」 文理解釈（原則）：法令の規定の文字に即して解釈すること 論理解釈：法の全体的な趣旨・目的を考えてそれに合うように解釈 ・拡張解釈・縮小解釈・類推解釈・反対解釈 法令間に矛盾抵触がある場合の解釈原理 ・上位法＞下位法 ・後法＞前法 ・特別法＞一般法 ・（特別法・一般法）＞（後法・前法）		

条例立案の留意点

- ・ 条例の必要性、合理性を基礎づけるような社会的、経済的、政治的な事実（立法事実）の存在が必要

① 条例の必要性・合理性を裏付ける事実

必要性：

- 問題・改善を要する状況が生じているか
- 被害・影響を受けているか
- 自治体の対応が必要か

合理性：

- どれだけ解決又は改善するか【有効性】
- どれだけ費用・コストが生じるか【効率性】
- 住民等にどのように配分されるか【公平性】

② 法的妥当性（合憲性・適法性を裏付ける事実）

- ・ 条例制定権の3つの限界

- ① 当該自治体の事務に関するもの
- ② 法令に違反しないこと
- ③ 憲法に反しないこと

二日目、9時25分～17時（残業19時まで延長可）の予定で、2グループに分かれ各班5～6名にて、穴戸教授（1～4班：こども育成・教育推進に関する条例、5～6班：議会基本条例）と小川教授（7～10班：地域支え合い活動推進条例、11～12班：ごみ屋敷等生活環境に関する条例）にてそれぞれの部屋にて条例立案演習を行った。私のグループは17時30分に終了した。

班員の役割

座長：石川則男（神奈川県大磯町議会議員 議員年数4年3ヶ月）

書記PC：平下尚己（静岡県富士宮市議会議員 議員年数1年4ヶ月）

書記：松本みのり（広島県庄原市議会議員 議員年数3年4ヶ月）

質問者：貝田弘子（福岡県筑後市議会議員 議員年数1年3ヶ月）

質問者：松本栄一（佐賀県玄海町議会議員 議員年数2年11ヶ月）

発表者：飯田健二（熊本県氷川町議会議員 議員年数2年10ヶ月）

三日目、グループが2つ（1班～6班と7班～12班）の部屋に分かれ、1班約30分間で発表・質問・答弁・再質問・講評を行った。

感想：私たちの班が12班だったので最終発表と思いきや、小川教授の「発表は最後尾から」との言葉でトップバッターでした。

丸一日6名にて自分達の市町の現状や課題を話しつつ仮想のJIAM市での条例立案について議論しました。

今回の研修では、読みやすい綺麗な条文を作ることが目的でなく、

① 条例の目的（何を目指しているのか、どのような状態を作り上げるのか、実現させたいのか）

② 条例の必要性（立法事実、政策は必要か、他の手段で実現できないか）

③ 条例の有効性（手段は目的の実現に対し効果的か）

④ 条例の効率性（他の目的実現の手段と比べコストを抑えるなど効率的か）

⑤ その他の視点

以上を深く詰めていくことが大切であることを教わりました。

短い時間だったので条文まで作成ができなかったが、非常に有意義な研修でした。

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目	会 議 費
起 案	令和 6 年 8 月 16 日	決 裁	令和 6 年 8 月 16 日
所 属		氏 名	備 考
1	明和	平下尚己	
2			
3			
4			
5			
6			
研修市町村		研 修 先	研 修 名
滋賀県大津市		全国市町村国際文化研修所	市町村議会議員研修[2日間コース] 議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～
研 修 目 的			
2006年に全国初の議会基本条例が制定されて以来、多くの地方議会が議会改革への取組に着手していますが、社会情勢の変化に合わせ、より柔軟性の高い議会のあり方が求められているため ①議会改革を進めるにあたっての基本的な事項（地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など）について学ぶ。 ②議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める。 ③ダイアログ（自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法）を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ。 上記を中心に、住民の関心を高め、二元代表性の一翼をを担う議会としてさらなる役割を果たすために必要な能力を養うため。			
宿 泊 地		出発年月日	帰省年月日
全国市町村国際文化研修所		令和 6 年 10 月 21 日	令和 6 年 10 月 22 日

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	8,435 円
内 容	市町村議会議員研修[2日間コース] 議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～ の参加費
目 的	2006年に全国初の議会基本条例が制定されて以来、多くの地方議会が議会改革への取組に着手していますが、社会情勢の変化に合わせ、より柔軟性の高い議会のあり方が求められているため ①議会改革を進めるにあたっての基本的な事項(地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など)について学ぶ。 ②議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める。 ③ダイアログ(自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法)を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ。 上記を中心に住民の関心を高め、二元代表性の一翼をを担う議会としてさらなる役割を果たすため、必要な能力を養うため。
支 出 先	全国市町村国際文化研修所
支払年月日	令和6 年 10 月 9 日
その他特記事項 参加費 8,050円×1人＝8,050円 振込手数料 385円 参加者 平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[2日間コース]議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～	

— 領収書等貼付欄 —

ふじしんキャッシュサービス

お取扱明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
お取扱明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面もご覧下さい。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・機番通番
06-10-09	
カード発行金庫・店番・科目	口座番号
*****-*****-*****	
万円券(枚) 五千円券(枚) 千円券(枚)	お取引金額
001000000	¥8,050*
お取引種別	お取引後残高
お振込	¥0
手数料 ¥385	ページ 硬貨
時刻 09:44	おつり ¥1,565

サイ)セソコクツチヨウソクケンシユウサ"イタ
 "ソ様
 フツノミヤツキ"カイツ"ムキヨク カイハ メイ
 フ様
 印刷税申告
 付に"キ"票
 税務署承認済

TEL0544221191
 ご利用ありがとうございました。
 富士信用金庫

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	23,000 円
内 容	市町村議会議員研修[2日間コース] 議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～ 参加の為に旅費
目 的	2006年に全国初の議会基本条例が制定されて以来、多くの地方議会が議会改革への取組に着手していますが、社会情勢の変化に合わせ、より柔軟性の高い議会のあり方が求められているため ①議会改革を進めるにあたっての基本的な事項(地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など)について学ぶ。 ②議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める。 ③ダイアログ(自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法)を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ。 上記を中心に住民の関心を高め、二元代表性の一翼をを担う議会としてさらなる役割を果たすため、必要な能力を養うため。
支 出 先	平下尚己
支払年月日	令和6 年 10 月 18 日
その他特記事項 23,000円×1人＝23,000円 参加者 平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[2日間コース]議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

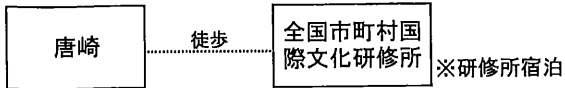
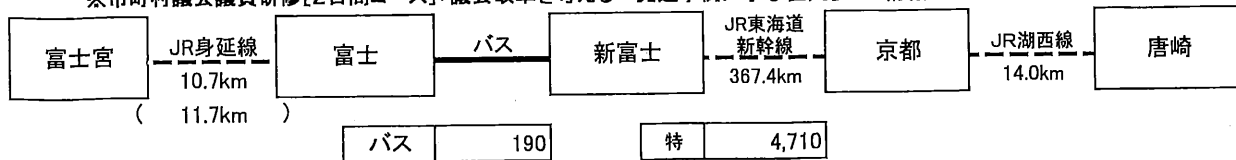
旅費計算書(政務活動費)

明和
(平下議員)

● 1 日 目 : 令和 6 年 10 月 21 日 (月)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[2日間コース]「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」

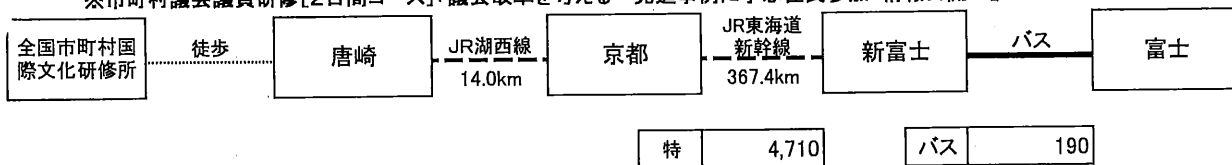


JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

● 2 日 目 : 令和 6 年 10 月 22 日 (火)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[2日間コース]「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」



JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

鉄 道 賃	J R	13,200 円	運賃 A	23,000 円	×	1 人	=	23,000 円
	私 鉄	円						
特 急 料 金	通 常	9,420 円	日 当	1,650 円	×	0 日	×	1 人 = 0 円
	閑 散	円						
	繁 忙	円						
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円	×	0 夜	×	1 人 = 0 円
船 賃		円						
車 賃 (バ ス)		380 円	旅費合計	23,000 円/人	×	1 人	=	23,000 円
1人往復運賃合計 A		23,000 円						

受講料に食費・研修生活活動費含む

研修報告書

		会派名	明和
研 修 年 月 日	令和6年10月21日（月）～令和6年10月22日（火）		
研 修 名	市町村議会議員研修[2日間コース] 議会改革を考える ～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～		
参 加 者	平下尚己		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	概要：初日に、「地方議会の展望」として、先行き不透明な時代となり、また、生成 AI 等技術革新が進む中、地方自治を取り巻く現状を解説いただき、その中で議会や議員に求められている役割やあり方について早稲田大学 北川正恭名誉教授から講義を受けた。続いて「議会改革度調査から見る地方議会」として、早稲田大学マニフェスト研究所において実施された議会改革度調査を基に全国の地方議会の取組について解説していただき、具体的な議会変革の手法について早稲田大学マニフェスト研究所 中村健事務局長から講義を受けた。 次に「住民参加・情報公開を進める取組①」として早稲田大学マニフェスト研究所 中村健事務局長がコーディネーター、石川県加賀市議会 上田朋和副議長が講師となり、市民との情報交換や意見聴取、学校に出向いてのおでかけ教室、オンラインを活用した情報発信等に取り組み、また、オンラインでの訓練経験を生かして令和6年能登半島地震で議会として活動された加賀市から事例紹介をしていただき、その後、質疑応答を通して理解を深めた。 二日目は「住民参加・情報公開を進める取組②」として早稲田大学マニフェスト研究所 中村健事務局長がコーディネーター、宮城県柴田町議会 高橋たい子議長が講師となり、ワールドカフェによる議員間討議をはじめ、高校生や町民との懇談会等の実施、またデジタルツールを活用した情報発信等に取り組みされている柴田町から事例紹介をしていただき、その後、質疑応答を通して理解を深めた。その後、各グループに分かれ、各議会における今後の議会改革推進の検討として効率的な会議の行い方について学ぶために「議会だよりをどのように改善すればよいか」をテーマに、ダイアログ（対話）の手法を用いた演習を体験し、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学び、早稲田大学マニフェスト研究所 中村健事務局長に講評していただいた。 特色：初日、講堂にて96名参加し、13時～14時30分「地方議会の展望」について①思い込み打破②議会の役割は執行部の監視だけでない③定数削減、報酬削減、政務活動費削減は改革とは言えない④執行部に要望（お願い）→提案⑤失効部の役割→法律、規則に基づいて公平、公正な行政執行⑥チーム議会（議会事務局と一体で）隅田区議会の議会基本条例⑦改革の進んだ議会と遅れている議会		

の違い⑧2030年の講義を受けた。

14時45分～15時30分「議会改革度調査から見る地方議会」

議会は住民から何を期待されているのか？→まちづくり

15時45分～17時30分「住民参加・情報公開を進める取組①」として「石川県加賀市議会の取り組み」を拝聴。加賀市議会は議会改革度調査2023にて全国5位(1562自治体中)。政策提案する議会であり策定したらアクションにつなげ検証をしっかりと行う。

2日目9時～10時45分「住民参加・情報公開を進める取組②」として「宮城県柴田郡柴田町議会の取り組み」を拝聴。柴田町議会は通年議会の形をとっており、2年ごとに議会基本条例の目的が達成しているかを議会運営委員会においてチェックシートを用いて検証している。

11時～11時40分各グループにわかれての進め方について説明を受けた後、お昼休憩をはさみ、12時40分～13時50分グループにて「議会だよりをどのように改善すればよいか」をテーマに討議

グループ：14班班員

大竹重範(福島県伊達市)：進行役(JIAMから最も遠距離者)

津村俊二(滋賀県野洲市)：発表者(JIAMから最も近距離者)

桑原圭美(新潟県南魚沼市)

林リエ(京都府向日市)

平下尚己：書記

感想：「議会だより」は、そもそも必要？不要？そこから始まり、「住民主権、自治の実現」のために必要！との共通認識から討議。

たくさん伝えたい⇒文字を多くすると読みにくい

- ・専門用語が分かりづらい
- ・広報と合わせたらどうか
- ・市民アンケート導入
- ・市政モニター導入
- ・表紙の工夫
- ・市民をたくさん登場させる
- ・新しい技術の活用
- ・穴は不要ではないか(その分コストが下がりページを増やせる)
- ・グループ発表の際、現状分析→要因分析→解決策→結論と順序だてて発表するとわかりやすかった

議会だより(つくり)を通じて議会改革するべし

富士宮市の議会だよりを班員に見せたが、素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。

多くの議会の現状を知ることができ、非常に有意義な研修でした。

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案		令和6年 8 月 16 日		決 裁	
				令和6年 8 月 16 日	
所 属		氏 名		備 考	
1	明和	佐野和也			
2		中野健太郎			
3		平下尚己			
4					
5					
6					
研修市町村		研 修 先		研 修 名	
滋賀県大津市		全国市町村国際文化研修所		市町村議会議員研修[2日間コース] 第2回「防災と議員の役割」	
研 修 目 的					
地震や記録的な豪雨、大型台風などによる自然災害は毎年のように各地で発生しています。 住民の命と生活を守るため日頃からの防災意識の向上、訓練や備え、助け合える関係づくり、また、 行政との緊密な連携が改めて重要となっています。 この研修で、災害発生に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学び、現在の 防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考えるため。					
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
全国市町村国際文化研修所		令和 6 年 10 月 31 日		令和 6 年 11 月 1 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	24,535 円
内 容	市町村議会議員研修[2日間コース] 第2回「防災と議員の役割」の参加費
目 的	地震や記録的な豪雨、大型台風などによる自然災害は毎年のように各地で発生しています。 住民の命と生活を守るため日頃からの防災意識の向上、訓練や備え、助け合える関係づくり、また、 行政との緊密な連携が改めて重要となっています。 この研修で、災害発生に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学び、現在の 防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考えるため。
支 出 先	全国市町村国際文化研修所
支払年月日	令和6 年 10 月 28 日
その他特記事項 参加費 8,050円×3人＝24,150円 振込手数料 385円 参加者 佐野和也・中野健太郎・平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[2日間コース]第2回「防災と議員の役割」	

ー 領収書等貼付欄 ー

ふじしんキャッシュサービス

お取扱明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
 お取扱明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面もご覧下さい。

ご利用年月日	取扱金庫・店番・機番通番
06-10-28	
カード発行金庫・店番・科目	口座番号
*****-*****	*****
万円券(枚) 五千円券(枚) 千円券(枚)	お取引金額
002000005	¥24,150*
お取引種別	お取引後残高
お振込	¥0
手数料 ¥385	ペーシ 硬貨
時刻 10:03	おつり ¥465

サ"イ)セ"ソコクシチヨウソクケンシユウサ"イタ
 "ソ様
 フツ"ノミヤツキ"カイツ"ムキヨク カイハ メイ
 ワ様
 印刷税申告納
 付につき電子
 税務署承認済

TEL0544221191

 ご利用ありがとうございました。
 富士信用金庫

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	69,600 円
内 容	市町村議会議員研修[2日間コース] 第2回「防災と議員の役割」 参加の為の旅費
目 的	地震や記録的な豪雨、大型台風などによる自然災害は毎年のように各地で発生しています。 住民の命と生活を守るため日頃からの防災意識の向上、訓練や備え、助け合える関係づくり、また、 行政との緊密な連携が改めて重要となっています。 この研修で、災害発生に備え、平時からの防災の心構えや地域での連携の重要性について学び、現在の 防災対策に関連する諸課題や議会・議員の果たすべき役割について考えるため。
支 出 先	全国市町村国際文化研修所
支払年月日	令和6 年 10 月 28 日
その他特記事項 23, 200円×3人＝69, 600円 参加者 佐野和也・中野健太郎・平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[2日間コース]第2回「防災と議員の役割」	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

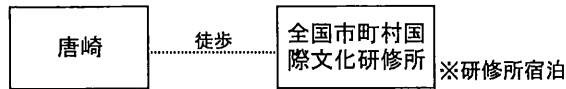
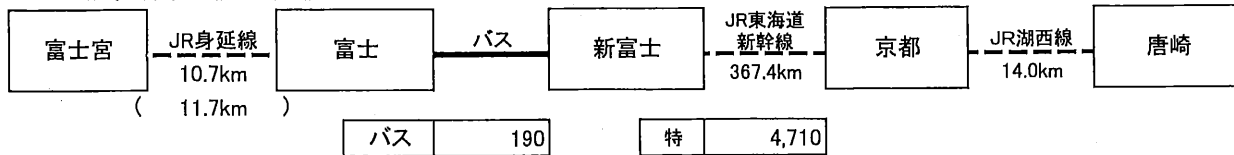
明和

(佐野和也・中野・平下議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 10 月 31 日 (木)

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[2日間コース]第2回「防災と議員の役割」

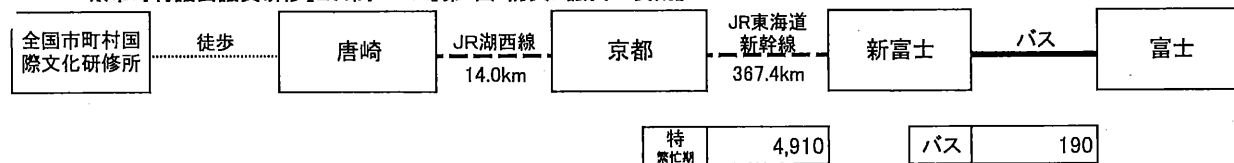


JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

● 2 日 目 : 令 和 6 年 11 月 1 日 (金) 繁忙期

【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[2日間コース]第2回「防災と議員の役割」



JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

鉄 道 賃	J R	13,200 円	運賃 A	23,200 円 × 1 人 = 23,200 円		
	私 鉄	円				
特 急 料 金	通 常	4,710 円	日 当	1,650 円 × 0 日 × 1 人 = 0 円		
	閑 散	円				
	繁 忙	4,910 円				
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
船 賃		円				
車 賃 (バ ス)		380 円				
1人往復運賃合計 A		23,200 円	旅費合計	23,200 円/人 × 3 人 = 69,600 円		

受講料に食費・研修生活動費含む

研修報告書

		会 派 名	明 和
研 修 年 月 日	令和6年10月31日～11月1日		
研 修 名	第2回「防災と議員の役割」		
参 加 者	佐野和也・中野健太郎・平下尚己		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	講義 過去の災害の教訓をこれからに活かすために 講師 香川大学四国危機管理教育・研究・地域推進機構 地域強靱化研究センター 特命准教授 磯打千雅子 確率的地震動予測地図では今後30年間に太平洋側で震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は非常に高く住民主体の防災の取り組みが重要視される。 その中でも地域の特性を活かした支え合いの仕組みづくり・日頃のあいさつやおつきあいが大切な取り組み。そして地域を共にする住民・町内会・自主防災会組織・学校・企業・団体・行政等の連携が目的の制度。知っておいた方が良いことを、文書にすることで明確化され多くの人に配る計画書。この3つの視点から作成した地区防災計画が大事である。地区防災計画を地域防災計画に反映する事がより良い防災計画の策定に繋がり被害をおさえることができる。しかしながら地区防災計画が出来上がっている地区は多くなく未だ地区防災計画策定に向けて活動中という地区が六割を占めるのが課題である。特に静岡県は他県と違い地震や台風や津波だけでなく、富士山噴火という災害も抱える。富士宮市は特に富士山噴火に対する防災計画を充実させなければならない地域であるが、富士山噴火は多くの都道府県に影響が出る災害であるため大きな課題である。		

研修報告書

		会 派 名	明 和
研 修 年 月 日	令和 6 年 10 月 31 日 (木)～11 月 1 日 (金)		
研 修 先	令和 6 年度市町村議会議員研修[2 日間コース] 第 2 回「防災と議員の役割」		
参 加 者	佐野和也・平下尚己・中野健太郎		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	「平時の防災と議員の役割」 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部まちづくり学科教授で内閣府被災者支援のあり方検討会座長、元板橋区危機管理担当部長の鍵屋一氏を講師に迎えて、「平時の防災～マネジメントを中心に～」と題した座学と演習(グループワーク)を行った。 鍵屋氏は災害被害の方程式として 自然の外力(気候変動等)×人口(被害を受ける範囲)×社会の脆弱性 と掲げ、平時にどのような防災対策の必要性があるのかを指摘した。 特に社会の脆弱性については、事前に対策がとれると指摘。関東大震災当時に比べ平均寿命は倍になり、75 歳以上の人口はこの 25 年で 2.6 倍、高齢単身世帯は 3.2 倍、要介護者の 80.2%が階段を昇り降りできない—といったデータが紹介された。また、障がい者はこの 25 年で 62.5%増加しており、社会的弱者が災害発生時に犠牲になる可能性が高いとして、「人口減少、少子高齢化の中で、支援する側が 3 分の 1、支援される側は 3 倍になった」として、その上で、災害対策の優先順位を正しく設定し、事前に対策を図る必要性を説いた。 事例として、東日本大震災では、高齢者の死者は全体の約 6 割、障がい者の死亡率は健常者の 2 倍を記録し、支援者たる自治体職員、消防団員、民生児童委員、高齢者福祉施設職員の犠牲が多かったとして、「支援者の危機管理能力を向上させる必要がある」とした。解決するためには、地区防災計画や個別避難計画で高齢者や障がい者を近所や福祉とつなげたり、任務放棄の基準を設定したりするなどの危機管理力アップを図る必要性を説いた。 災害関連死は事前の対策で防ぐことのできる犠牲者であることも伝え、89%が 66 歳以上であり、移動や避難所での衰弱があることから、福祉施設 BCP や福祉避難所を多数整備することで支援制度や避難拠点を充実させる必要性が伝えられた。 演習では、東日本大震災で被災した岩手県大槌町の平野総務部長(現町長)の証言を基に、当時の行政対応の課題や気づきを出し合って発表した。		

研修報告書

会派名		明和
研 修 年 月 日	令和6年10月31日(木)～令和6年11月1日(金)	
研 修 名	令和6年度 市町村議会議員研修[2日間コース] 「防災と議員の役割」	
参 加 者	佐野和也、中野健太郎、平下尚己	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	概要 講義 - 過去の災害の教訓をこれから活かすために 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター 特命准教授 磯打千雅子氏 - 平時の防災と議員の役割 跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋一氏 演習 - 平時の防災と議員の役割 跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋一氏 事例紹介 - 令和6年能登半島地震における対応と取組 石川県珠洲市議会 副議長 川端孝氏 コーディネーター：跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋一氏 講義・演習 - 災害時、復旧・復興期の議員の役割 跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋一氏 講義 - ふりかえりとまとめ 跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 教授 鍵屋一氏 のうち、二日目は 令和6年能登半島地震における対応と取組として、今年1月に発生した令和6年能登半島地震の被災地のいま、震災後に議会として対応されたこと、避難所運営の中心として活動されている議員の活動についてお話いただき、鍵屋氏から専門的な知見から意見をいただいた。 災害時、復旧・復興期の議員の役割として、災害時および復旧・	

復興期における議員の役割についての講演後、グループに分かれてワールドカフェ形式による意見交換を行い、議員として何ができるかについて考えた。

その後、ふりかえりとまとめとしてお話いただいた。

特色： 77 名参加し、石川県珠洲市議会 副議長 川端孝氏による令和 6 年能登半島地震における対応と取組についてご講演いただいた。被災後の住民基本台帳人口は被災前から約 1,000 名減少しており、避難された方が帰ってきていない状況が続いている。

仮設住宅入居の優先順位を①全壊②要介護者③高齢者としたが、①全壊②半壊にすべきだった。とのこと。

また、子育て世代を最優先にしなかったのが、若い世代が不在になってしまった。という反省点を話された。

仮設住宅に入れる条件（国の判定基準）の見直しをしていただきたい。という意見もありました。

講義で災害時、復旧・復興期の議員の役割の中で、高齢者や障がい者の避難にフォーカスした対策が必要であるのと、支援者の危機管理能力を向上させる必要性や任務放棄の基準も必要である。また、高齢者を支援する制度、避難拠点が必要であることを確かな根拠を元に講演された。

演習では、1 グループ 3～4 人で 20 グループに分かれ、初日と同じくワールドカフェ形式（・対話を楽しむ・話す時間は同じ程度・互いの話を聴きあって広げながら否定しない・感じたことを大切に、アイデアや思いついたことをポストイットに自由に書く）にて知恵や対策を共有した。

感想：石川県珠洲市議会川端副議長から、「議員として」よりも、まず先に「人として」①人名救助②避難誘導③状況把握できてから防災組織と連絡・報告。そして自分自身の安全を確保してから、救助にあたってほしい。まず、家族の安全を第一に考えて実行していただきたい。それから、議会・議員として行動することが大事であると思いました。

跡見学園女子大学観光コミュニティデザイン学科 鍵屋一教授の講演・演習から、やはり「人のつながりが大事」。安心安全の源は「ご近所力」であり、日常から人間関係、近所関係を良好にし、誰一人取り残さない魅力ある地域社会＝地域共生社会を作ることが大事である。

このことが、「災害や危機にも強くなる」

非常に有意義な研修でした。

研修報告書

		会 派 名	明 和
研 修 年 月 日	令和6年12月10日(火)		
研 修 名	地域医療勉強会		
参 加 者	辻村岳瑠、佐野和也、芦澤秀典、平下尚己、中野健太郎		
研修内容 (概要、特色、 効果、課題 等)	現在の富士地域医療圏の状況を考え、公立病院を含めた地域医療の在り方を学ぶ機会を設けるため、地域医療勉強会を大富士交流センター第3会議室で開催。全22議員に呼び掛けたところ、16氏の参加があった。 講師には、津田塾大学総合政策学部の伊藤由希子教授を迎えた。伊藤教授は医療経済学を専門にしており、内閣府や厚生労働省の委員を歴任し、現在、富士市の新病院建設基本構想等審議会の会長を務めている。 伊藤教授は昨年4月22日に富士宮市立病院で聞き取り調査を実施しており、今回の勉強会では富士市新病院建設基本構想等審議会における答申と合わせて解説。全国で問題となっている医師不足や病院存続に向けた取組も紹介された。 富士宮市立病院、富士市立中央病院、共立蒲原総合病院の分析では、機能の重複、距離的な近接の視点で機能分化と連携強化が必須であると指摘。人口減少が進み、外来・入院患者数、収益などの推移をシミュレーションした場合、既存のフルスペックの診療科を設けることは困難であると分析し、医療圏域での連携強化がますます必要になってくることを訴えた。 現在、富士医療圏域では富士市立中央病院の建て替えに向けた議論が進んでいる。富士宮市立病院も現在病院の在り方検討会が報告書の公表の準備を進めている。地域医療の根幹となる基幹病院の存在意義と合わせいかに地域の医療ニーズに対応していくのか、議会としても議論を進めていかねばならないと感じた。		

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	170 円
内 容	勉強会会場使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 11 月 22 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:平下尚己、中野健太郎、辻村岳瑠、芦澤秀典、佐野和也	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

第1号様式(第2条関係)

富士宮市大富士交流センター指定管理者
(公財)富士宮市振興公社

富士宮市大富士交流センター使用許可書兼領収書

令和 6 年 11 月 22 日

住 所 富士宮市黒田258-1
団 体 名 富士宮市議会地域医療勉強会
氏名又は代表者名 中野健太郎
(連絡責任者)

富士宮市大富士交流センターの使用について、下記のとおり許可します。

使用日時	令和 6 年 12 月 10 日 (火 曜日) 9 時 00 分 から 12 時 00 分 まで 令和 6 年 12 月 10 日 (火 曜日) 12 時 00 分 まで			☒ 下記のとおり		
行事名 ・ 内容	研修会		入場予定者数	15 人		
			入場方法	無料・有料 商業宣伝・その他		
会場責任者	〒 住所 氏名 同上 (電話番号)		入場 料金	0 円		
備 考 (附属設備使用)	1. 音響装置 6. ピアノ 2. プロジェクター 7. PA 3. スクリーン ⑧ Wi-Fi 4. 演台 9. その他 5. 舞台 ()		基 ・ 市 外 ・ 入 場 料 () 利用 料	550 円		
				 消費税込 550 円 (消費税等 50 円)		

※許可番号

※許可年月日

6.11.22

	使用日時(曜)・区分														
	12月 10日 (火)			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
集会室1															
集会室2															
会議室1															
会議室2															
会議室3	○														
会議室4															
和室															
調理室															

許可条件 富士宮市大富士交流センター条例、同施行規則及び係員の指示を守ること。

(注) 使用の取消と既納利用料の還付について

取消の場合は、使用日の8日前まで全額還付、7日前から4日前まで7割還付、3日前のみ5割還付
2日前から当日は還付がありません。

※上記の日時までに窓口にて取消手続きを行わないと、既納利用料の還付はできません。

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	4,375 円
内 容	講師謝礼
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:平下尚己、中野健太郎、辻村岳瑠、芦澤秀典、佐野和也	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別 紙

領収書等貼付用紙

項 目	会議費	内 容	講師謝礼
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 14,000円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の講師料として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒 [REDACTED]
氏名 伊藤由希子



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	3,555 円
内 容	講師交通費
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:平下尚己、中野健太郎、辻村岳瑠、芦澤秀典、佐野和也	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別 紙

領収書等貼付用紙

項 目	会議費	内 容	講師交通費
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 11,380円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の交通費として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒
氏名

伊藤 由希子

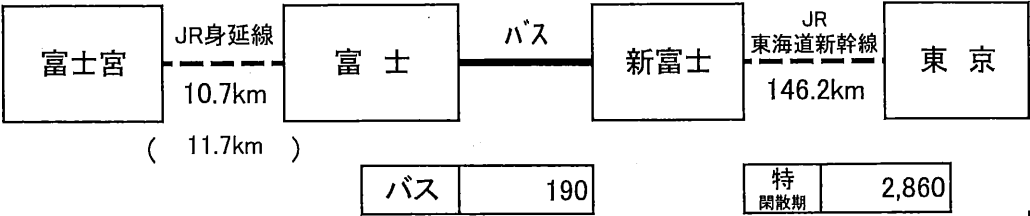


旅費計算書(政務活動費)

会議費

研修: 地域医療勉強会
会場: 大富士交流センター 第3会議室(富士宮市万野原新田4136-6)

● 令和6年12月10日(火) (往復) ※閑散期



JR運賃営業キロ	
156.9 Km	
2,640 円	
バス	190 円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,380 円 × 1 人 = 11,380 円
	私 鉄	円	日 当	円 × 日 × 人 = 0 円
特 急 料 金	通 常	円		
	閑 散	5,720 円		
	繁 忙	円		
航 空 運 賃	料 金	円	宿 泊 料	円 × 夜 × 人 = 0 円
		円		
車 賃 (バ ス)		380 円		
		円		
1人往復運賃合計 A		11,380 円	旅費合計	11,380 円/人 × 1 人 = 11,380 円

※旅費計算表に基づく

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	340 円
内 容	勉強会プロジェクター使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:平下尚己、中野健太郎、辻村岳瑠、芦澤秀典、佐野和也	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項目	会議費	内容	会場プロジェクター使用料
領収書等貼付欄			

領収書

発行日 令和6年12月10日

地域医療勉強会 様

¥ 1,100

但し、令和6年12月10日 利用の備品代として
上記正に領収いたしました。



内訳

税率	税抜金額	1,000	円
10%	消費税額	100	円
税率	税抜金額	0	
8%	消費税額	0	

富士宮市

大富士交流センター 指定管理者
(公財) 富士宮市振興公社
TEL 0544-28-0024
登録番号: T 1080105003625

No. [REDACTED]

令和 6 年 12 月 4 日

津田塾大学 総合政策学部
教授 伊藤 由希子 様

地域医療勉強会
幹事 望月 芳将
中野 健太郎

地域医療勉強会の講師について(依頼)

師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記議題をテーマに地域医療勉強会を開催することとなりました。
つきましては、御多用の折誠に恐縮ですが、勉強会にて講師を依頼したく、よろ
しくお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 令和 6 年 12 月 10 日(火)午前 10 時から 11 時 45 分まで
- 2 場 所 大富士交流センター第 3 会議室
(富士宮市万野原新田 4136-6)
- 3 対象者 富士宮市議会議員 14 名
- 4 勉強会の議題
地域医療の現状、自治体病院の在り方について等
- 5 謝礼等 謝 礼 14,000 円
交通費 11,380 円

以上

問い合わせ先

富士宮市議会議員 中野 健太郎

電話(0544)27-6035 携帯

e-mail

12月10日(火)地域医療勉強会参加者名簿

No.	出欠席	会派	氏名
1	✓	公明会	佐野 寿夫
2	✓	公明会	山藤 陽子
3	✓	明和	辻村 岳瑠
4	✓	明和	佐野 和也
5	✓	明和	芦澤 秀典
6	✓	明和	平下 尚己
7	✓	明和	中野 健太郎
8	✓	富岳会	佐野 和彦
9	✓	富岳会	臼井 由紀子
10	✓	至誠	鈴木 弘
11	✓	超党派虹の会	渡辺 佳正
12	✓	超党派虹の会	稲葉 晃司
13	✓	超党派虹の会	近藤 千鶴
14	✓	無会派	望月 芳将
15	✓	無会派	仲亀 恭平
16	✓	無会派	岩村 恵美
17			
18			
参加者合計		16	名

視 察 申 請 書

		予算項目		調 査 旅 費	
起 案	令和 6 年 12 月 4 日			決 裁	令和 6 年 12 月 4 日
所 属		氏 名		備 考	
1	明和	諏訪部 孝敏			
2		辻村 岳瑠			
3		佐野 和也			
4		赤池 弘源			
5		芦澤 秀典			
6		中野 健太郎			
7		平下 尚己			
視察市町村		視 察 先		目 的	
愛媛県今治市		高橋浄水場		「バリウォータ」の視察のため	
愛媛県西条市		西条市役所		小中学校 I C T 教育推進事業の視察のため	
愛媛県新居浜市		ワクリエ新居浜		ワクリエ新居浜の視察のため	
広島県尾道市		尾道市役所		しまなみ海道におけるサイクルツーリズムの視察のため	
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
愛媛県西条市 広島県尾道市		令和 7 年 1 月 27 日		令和 7 年 1 月 29 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	571,060 円
内 容	今治市、西条市、新居浜市、尾道市行政視察のための旅費
目 的	愛媛県今治市 高橋浄水場「バリウォーター」の視察のため 愛媛県西条市 小中学校ICT教育推進事業の視察のため 愛媛県新居浜市 ワクリエ新居浜の視察のため 広島県尾道市 しまなみ海道におけるサイクルツーリズム(サイクルオアシスの取り組み含む)の視察のため
支 出 先	辻村岳瑠ほか 6人
支払年月日	令和7 年 1 月 24 日
その他特記事項 辻村岳瑠、諏訪部孝敏、佐野和也、赤池弘源、芦澤秀典、中野健太郎、平下尚己 の7人	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

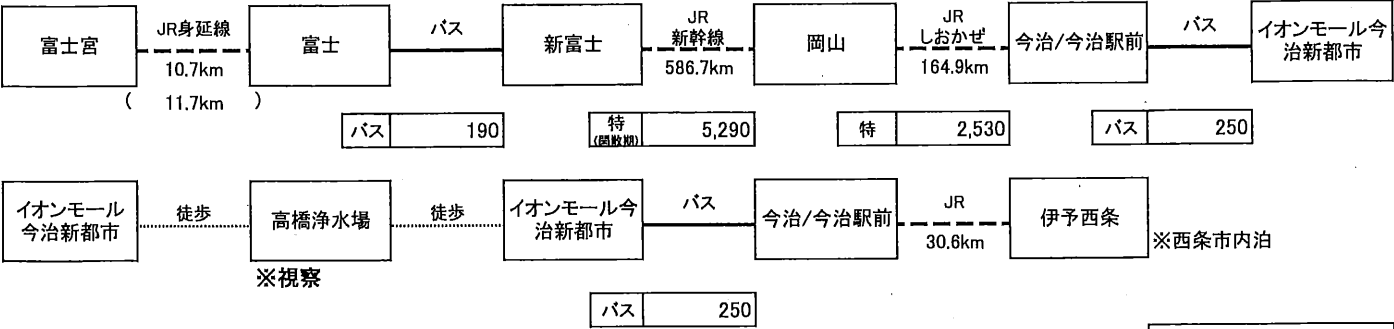
旅費計算書(政務活動費)

明和

(諏訪部・辻村・佐野和也
赤池・芦澤・中野・平下議員)

● 1 日 目：令和7年1月27日(月) 閑散期

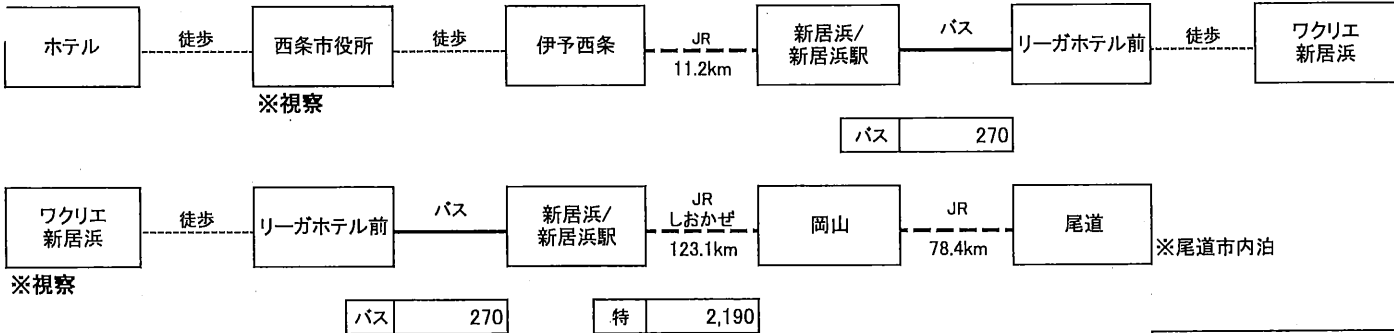
【視察】 高橋浄水場(愛媛県今治市高橋乙7番地1)



JR運賃営業キロ	
792.9	Km
12,290	円

● 2 日 目：令和7年1月28日(火)

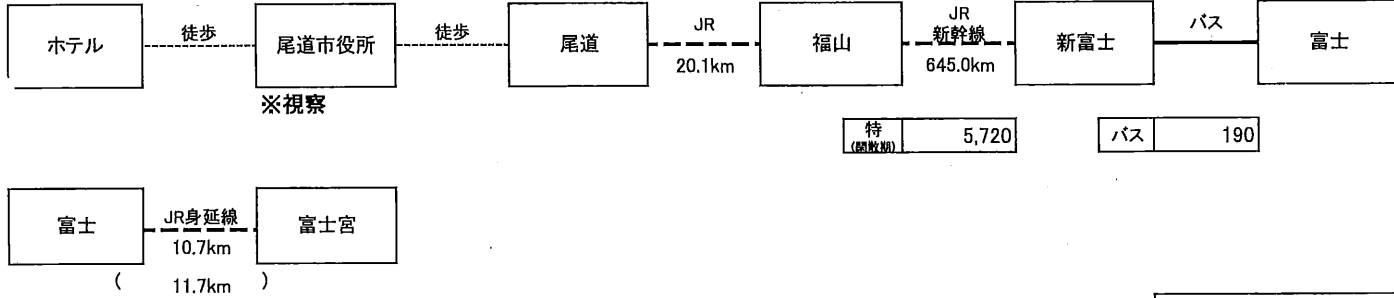
【視察】 西条市役所(愛媛県西条市明屋敷164番地)、ワクリエ新居浜(愛媛県新居浜市新田町1丁目8-56)



JR運賃営業キロ	
212.7	Km
4,180	円

● 3 日 目：令和7年1月29日(水) 閑散期

【視察】 尾道市役所(広島県尾道市久保1丁目15-1)



JR運賃営業キロ	
675.8	Km
10,010	円

鉄 道 賃	J R	26,480	円	運賃 A	43,630 円 × 1 人 = 43,630 円				
	私 鉄		円						
特 急 料 金	通 常	4,720	円		日 当	1,650 円 × 3 日 × 1 人 = 4,950 円			
	閑 散	11,010	円						
	繁 忙		円						
航空運賃	料 金		円	宿泊料	16,500 円 × 2 夜 × 1 人 = 33,000 円				
船 賃			円						
車 賃 (バ ス)		1,420	円						
1人往復運賃合計 A		43,630	円	旅費合計	81,580 円/人 × 7 人 = 571,060 円				

視察報告書

会 派 名 明和	
視 察 年 月 日	令和 7 年 1 月 2 7 日 月曜日
視 察 先	愛媛県今治市 高橋浄水場（バリウォーター）
参 加 者	辻村岳瑠、諏訪部孝敏、佐野和也、芦澤秀典、 赤池弘源、中野健太郎、平下尚己 計 7 人
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	概要：今治市基幹浄水場更新事業「高橋浄水場（バリウォーター）」について、今治市上下水道部水道工務課職員から、①今治市の概要、②今治市水道事業について、③高橋浄水場建設までの経緯について、④事業費及び会計状況について、⑤総事業費について、⑥費用対効果について、⑦人件費削減について、⑧浄水工程について、⑨膜ろ過装置について、⑩病原体の原虫（クリプトスポリジウム）除去について、⑪大規模災害発生時の対応について、⑫現状及び課題について説明を受けた。 概要、特色 ①今治市は 2005 年（平成 17 年）1 月に 1 市 9 町 2 村が合併により人口約 18 万人、四国で 4 県都に次いで 5 番目、県下で第 2 の都市となる。 ②合併当時、施設総数 270 箇所（水道事業 7・簡易水道 6・飲料水事業 2）あり管理が大変なため、令和 4 年 4 月現在、施設総数 179 箇所（水道事業 5・簡易水道 1・飲料水事業 1）へと統廃合で減らしてきた。 ③元々運用していた小泉浄水場（昭和 46 年供用開始）の老朽化が進行していたのと集中豪雨による濁りや原水の水質悪化による異臭対策がきっかけで検討を始めた。 ④国庫補助金は約 1%の 132,600 千円。 ⑤高橋浄水場整備工事 90 億円 導水管整備工事 9 億円 配水池築造工事 6 億円 遠方監視制御設備整備工事 11 億円 ⑥DBM（デザイン ビルド メンテナンス）を取り入れたことにより業者提案で沈殿池不要とした他、造船のまちにちなんで、施設全体を船に置き換えたデザインとなる。 ⑦5 年契約で約 1 億円の人件費を削減した。 ⑧浄水場から排水を出さない完全クローズドシステムを採用。環境負荷軽減に寄与。 ⑨施設能力として、膜ろ過装置は 8 ユニットあり 4 万 t 処理可能 ⑩膜ろ過 孔の大きさ 0.1 μm クリプトスポリジウム 4～5 μm ⑪組立式給水タンク 1t×50 基、給水塔 2 栓

災害時応援者受け入れスペースの確保、自家発電設備 1 式
ボトルウォーター（アルミ缶 490ml）×2 万本（保存期間 10 年）

課題：高橋浄水場の最大の特徴は沈殿池がないこと。高濁度時の実績を積み上げていく必要性あり。膜の薬品洗浄期間の見極め。20 年間のメンテナンス。

感想：高橋浄水場を検討した場所は、元々ゴルフ場で閉鎖した場所であり、小泉浄水場から距離も近く、高度も同じくらいの場所で、好立地の場所を運よく取得できたとのこと。

今治市の水道代金は富士宮市の 2 倍程度とのことでした。

今後北山浄水場を更新する際は先進地の取組を視野に入れながら富士宮市の発展に寄与していただきたい。

視察報告書

会 派 名 明 和

視 察 日 年 月 日	令和7年1月28日(火)
視 察 先	愛媛県西条市
参 加 者	辻村岳瑠・諏訪部孝敏・佐野和也・赤池弘源・中野健太郎 平下尚己・芦澤秀典
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	西条市では「西条市立小中学校情報化推進委員会」を中心に教育の情報化にかかる様々な取組・研究を行い成果を挙げてきている。平成27年度開始された電子黒板や校務支援システムの導入によってICT環境整備が大きく前進し、また各学校にはICT分野に特化した教師がおり、その結果、今日に至ってはほぼ全ての教師が基本的知識を習得、応用可能になり、さらなるICTの環境整備を進めているようである。また、ICT支援員の充実もしっかりしているとのこと。 ICT教育は、「教育の革新」を図るものである。子どもたちの学ぶ意欲と確かな学力向上、コミュニケーション能力の育成、人間的なふれあいを確保するためにもICT教育は必要不可欠なものである。 富士宮市内の小中学校においても西条市に劣らぬICT教育を展開していると思われるが、さらなる教育の質を高め、学力の向上を目指していただきたい。

視察報告書

会 派 名		明和
視 察 年 月 日	令和 7 年 1 月 28 日	
視 察 先	新居浜市 ワクリエ新居浜	
参 加 者	諏訪部孝敏 辻村岳瑠 佐野和也 平下尚己 赤池弘源 中野健太郎 芦澤秀典	
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	〈ワクリエ新居浜について〉 概要：ワクリエ新居浜は平成 29 年度末に廃校となった旧若宮小学校を活用した多目的施設である。 この施設は、街中に人口増加に伴い新設された小学校であった。ピーク時には 1,000 人を超える大規模小学校となった。しかし、時代とともに生徒数の減少により廃校に追い込まれ、約 60 年の歴史の幕を下ろした。しかし、旧若宮小学校活用に係る地域住民等の協議により、生涯活躍のまち拠点施設として生まれ変わった。 特色：地域資源やニーズを活用して新たな価値を創造する拠点として地域活性化に大きく貢献。 1. 地域の特有の歴史や産業のストーリーを取り入れた活動を展開し、差別化を図る。 2. 多様な交流拠点として、「感性をはぐくみワクワクを創造する」を核とし、また 4 つのテーマから歴史・イベント・グルメ・産業・学び・音楽・木育の部屋や広場が作り上げられている。街なかにあって、子供の成長に大事なものを感じた。特に、木育のひろば木音（ころん）は、木のぬくもりが感じられ、子供を思う地域住民の思いから、よりよい街の未来が想像できる。 これらは、平成 29 年度から令和 2 年度に行われた旧若宮小学校活用に係る地域住民等との 42 回の協議会が開催され、結果として地域の要望が形として現れている。また委託業者となった団体が、設立前から協議会に参加していたことも、成功の大きな要因となっている。 課題：地域の多目的施設として、さらに効果的に進めるためには、地域住民や企業との連携強化、利用者の多様なニーズへの対応、持続可能な運営体制の構築など、様々な課題が存在する。 感想：富士宮市で考えられる遠隔地での小学校の廃校とは違い、街中で起きた廃校活用利用であったが、富士宮でも起こりうる可能性を感じた。また、新居浜市には四国三大祭りの一つ、新居浜太鼓祭りによる地域の結びつきが、ワクリエ新居浜の運営にも良い影響を与えている。緑化維持管理（草刈り・樹木剪定）について伺うと、地域で率先してやっているとのことだった。地元住民・卒業生の小学校への思いが、ワクリエ新居浜に移行できた協議会の働きを大きく感じる。	

視察報告書

会 派 名 明 和

視 察 年 月 日	令和 7 年 1 月 2 9 日 (水)
視 察 先	広島県尾道市
参 加 者	辻村岳瑠・諏訪部孝敏・佐野和也・芦澤秀典・赤池弘源・平下尚己・中野健太郎
視察内容 (概要、特色、 効果、課題等)	しまなみ海道におけるサイクルツーリズムについて学ぶため、広島県尾道市庁舎を訪問、同市産業部観光課よりサイクリングを活用した観光振興の取り組みについて説明を受けた。 瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)は原付自転車や自転車、歩行者専用道路が整備されており、各島の周回道路と併せて総延長約 70 キロメートルのサイクリングロードとなっている。 平成 30 年度実績では、しまなみ海道サイクリング客数(推計値)は 333,000 人、うち尾道市内サイクリング客数(同)は 189,000 人を記録。同市の観光産業を支えている。 同市によるレンタサイクル事業は平成 11 年よりスタートし、同 29 年より(一社)しまなみジャパン(日本版 DMO)へ委託。同 31 年には 85,201 人(広島県のみ)を記録している。また、外国人利用客数は年々増加傾向にあり、令和 5 年度 30.9%を記録した。 サイクリング客が気軽に立ち寄り、休憩や地域の人々との交流が図れるおもてなしの場所として、地域から協力を受けた「しまなみサイクルオアシス」の整備にも取り組んでいる。シンボルタペストリー、自転車スタンド、空気入れなどを無償貸与し、住宅の軒先、庭先などの提供をしている。同市内では現在 150 ヶ所になり、今も増加しているという。 そのほか、タクシー会社や自転車店などと連携した「しまなみ島走レスキュー事業」、サイクリスト向け宿泊地の情報発信を行う「しまなみ自転車旅の宿」、サイクリングイベントの開催、インバウンドプロモーションなども展開している。 しまなみ海道は、国土交通省が指定するナショナルサイクルルート(NCR)の第 1 次ルートであり、NCR 指定の参考事例となっている。サイクルツーリズムの振興については、当時の愛媛県知事の号令によって始まったもので、世界トップシェアを誇る自転車メーカージャイアントのストア、サイクリスト用ホテル、飲食店、セレクトショップなどが入る複合施設 U2 の誘致も実現しているが、担当者は「たまたま」と謙虚な姿勢で取り組んでいた。 それはアンテナを高く持ち、時流を読み、ニーズに応える事業展開に通じているものであり、大いに参考になるものであった。 現在、富士宮市を含む環富士山地域では NCR 富士山一周サイクリングルート「フジイチ」の指定に向けた取組が進んでいる。すでに富士宮市においても具体的なハード、ソフト対策が進められている

	サイクルツーリズム推進ではあるものの、今後の需要獲得を目指した取組拡大が必要であると強く感じた視察となった。
--	---

支 出 伝 票

項 目	調査旅費
金 額	1,700 円
内 容	ワクリエ新居浜行政視察による 新居浜市生涯活躍のまち拠点施設使用料
目 的	愛媛県新居浜市 ワクリエ新居浜の視察のため
支 出 先	新居浜市生涯活躍のまち拠点施設 ワクリエ新居浜 指定管理事業者 株式会社ハートネットワーク
支払年月日	令和7 年 1 月 28 日
その他特記事項	

－ 領収書等貼付欄 －

富田市議会 明和様

〔領収書〕
新居浜市生涯活躍のまち拠点施設
ワクリエ新居浜 指定管理事業者
株式会社ハートネットワーク
愛媛県新居浜市
坂井町2丁目3番17号
登録番号:T9500001010237

2025/01/28 14:41:47
レジ 担当
取引No

ご利用ありがとうございます。

一般	13:00～17:00	
¥1,400	1点	¥1,400
冷暖房		
¥300	1点	¥300
小計	2点	¥1,700

合計	¥1,700
(内消費税等	¥154)
(10%標準対象	¥1,700)
(内消費税等	¥154)
現金	¥1,700
お預り	¥1,700
お釣り	¥0

上記正に領収いたしました

新居浜市生涯活躍のまち拠点施設
ワクリエ新居浜
愛媛県新居浜市新田町1丁目8-56
0897-39-6789

支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	12,912 円
内 容	今治市、西条市、新居浜市、尾道市行政視察視察の際のお土産代
目 的	視察先へのお土産品として ・今治市議会 ・西条市議会 ・新居浜市議会 ・尾道市議会
支 出 先	合資会社 藤太郎本店
支払年月日	令和7 年 1 月 18 日
その他特記事項 3228円×4ヶ所=12,912円 (内消費税額 956円)	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

27 年 / 月 18 日

富士宮市議会 会派 明様

収 入
印 紙

金 額	712,912
-----	---------

上記金額正に領収いたしました。

合資会社 藤

内 訳	菓子代(軽減税率対象)として (税率8%) 税込み ￥ 12,912 内消費税額等 ￥ 956
-----	--

登録番号 T1080

本店 ☎ 0544-26-4118
静岡県富士宮市大宮町8-3

城北店 ☎ 0544-26-0811 富士宮市城北町452
西駅前店 ☎ 0544-26-3284 富士宮市西町26-15

扱者

支 出 伝 票

項 目	その他の経費
金 額	3,840 円
内 容	今治市、西条市、新居浜市、尾道市行政視察視察の際のお土産代の送料
目 的	視察先へのお土産品として ・今治市議会 ・西条市議会 ・新居浜市議会 ・尾道市議会
支 出 先	合資会社 藤太郎本店
支払年月日	令和7 年 1 月 18 日
その他特記事項	

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

No. _____

富七宮市議会
会派 明和 様

R7 年 1 月 18 日

✱ 3840 -

但 ☒ 完税便代金 品 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました 静岡県富士宮市大宮町8番3号

合資 藤太郎本店
会社
代表社員 後藤 泰輔

内 訳		
税率	税込金額	消費税額等
10 %	3840	349
税率	税込金額	消費税額等
%	/	/

登録番号 T1080103000780

登録番号

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案	令和 6 年 12 月 20 日		決 裁	6 年 12 月 20 日	
所 属		氏 名		備 考	
1	明和	平下尚己			
2					
3					
4					
5					
研修市町村		研 修 先		研 修 名	
滋賀県大津市		全国市町村国際文化研修所		市町村議会議員研修 [3日間コース] 人口減少社会における議会の役割	
研 修 目 的					
高齢者人口がピークを迎える2040年頃までに、少子高齢化社会が招くインフラの老朽化、労働力不足や担い手不足などにより、多くの深刻な問題の顕著化が懸念されています。 この研修で、これらの状況を理解するとともに、人口減少下における地方自治体、地方議会、地方議員として期待されている役割や今から取り組むべき課題などを考えるため。					
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
全国市町村国際文化研修所		令和 7 年 2 月 3 日		令和 7 年 2 月 5 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	11,385 円
内 容	市町村議会議員研修[3日間コース] 人口減少社会における議会の役割の参加費
目 的	高齢者人口がピークを迎える2040年頃までに、少子高齢化社会が招くインフラの老朽化、労働力不足や担い手不足などにより、多くの深刻な問題の顕著化が懸念されています。 この研修で、これらの状況を理解するとともに、人口減少下における地方自治体、地方議会、地方議員として期待されている役割や今から取り組むべき課題などを考えるため。
支 出 先	全国市町村国際文化研修所
支払年月日	令和7 年 1 月 27 日
その他特記事項 参加費 11,000円×1人=11,000円 振込手数料 385円 参加者 平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[3日間コース]人口減少社会における議会の役割	

— 領収書等貼付欄 —

ふじしん キャッシュサービス

お取扱明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。
お取扱明細票をどうぞお確かめ下さい。裏面もご覧下さい。

ご利用年月日		取扱金庫・店番・機番通番	
07-01-27		[REDACTED]	
カード発行金庫・店番・科目		□ 座 番 号	
[REDACTED]		[REDACTED]	
万円券(枚)	5千円券(枚)	千円券(枚)	お取引金額
0010000002			¥11,000*
お取引種別		お取引後残高	
お振込		¥0	
手数料	¥385	ページ	硬貨
時刻	10:54	おつり	¥615

サ"イ)セ"ンコクシチヨウソクケンシユウサ"イ
ツ"ン様 [REDACTED]
フシ"ノミヤシキ"カイシ"ムキヨク カイハ メイ
ワ様 TEL0544221191

印紙税申告
 付につき
 税務署承認

ご利用ありがとうございました。
◆富士信用金庫

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	24,250 円
内 容	市町村議会議員研修[3日間コース] 人口減少社会における議会の役割 参加のための旅費
目 的	高齢者人口がピークを迎える2040年頃までに、少子高齢化社会が招くインフラの老朽化、労働力不足や担い手不足などにより、多くの深刻な問題の顕著化が懸念されています。 この研修で、これらの状況を理解するとともに、人口減少下における地方自治体、地方議会、地方議員として期待されている役割や今から取り組むべき課題などを考えるため。
支 出 先	平下尚己
支払年月日	令和7 年 1 月 15 日
その他特記事項 24,250円×1人=24,250円 参加者 平下尚己 研修先 滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所 研修名 市町村議会議員研修[3日間コース]人口減少社会における議会の役割	

— 領収書等貼付欄 —

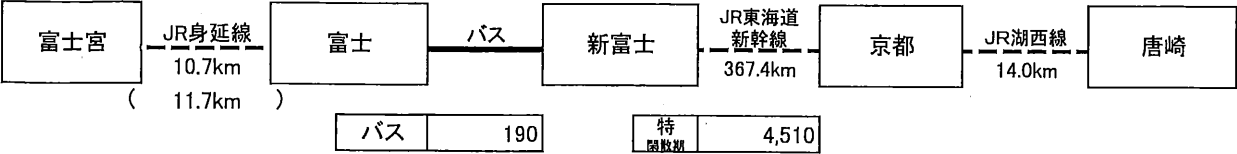
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

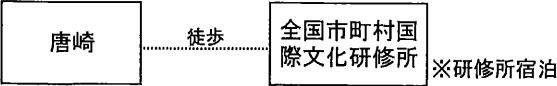
明和
(平下議員)

● 1 日 目： 令 和 7 年 2 月 3 日 (月) 閑散期
【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」



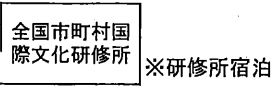
バス	190	特 閑散期	4,510
----	-----	----------	-------



JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

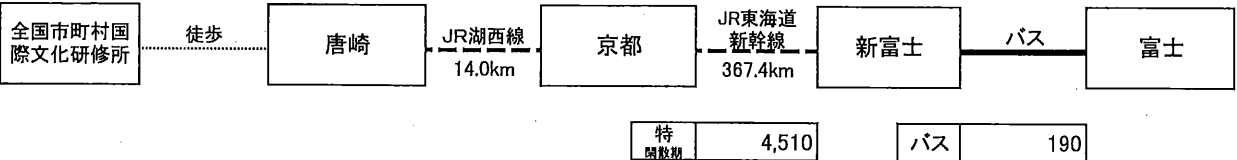
● 2 日 目： 令 和 7 年 2 月 4 日 (火)
【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」

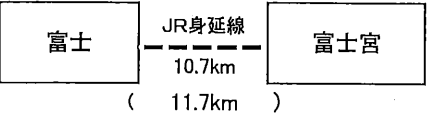


● 3 日 目： 令 和 7 年 2 月 5 日 (水) 閑散期
【研修】全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)

※市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」



特 閑散期	4,510	バス	190
----------	-------	----	-----



JR運賃営業キロ	
392.1	km
6,600	円

鉄 道 賃	J R	13,200 円	運賃 A	22,600 円 × 1 人 = 22,600 円		
	私 鉄	0 円				
特 急 料 金	通 常	円	日 当	1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円		
	閑 散	9,020 円				
	繁 忙	円				
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円		
船 賃		円				
車 賃 (バ ス)		380 円	旅費合計	24,250 円/人 × 1 人 = 24,250 円		
1人往復運賃合計 A		22,600 円				

受講料に食費・研修生活動費含む(最終日の昼食は研修経費に含まれていない)

研修報告書

会派名		明和
研 修 年 月 日	令和7年2月3日（月）～令和7年2月5日（水）	
研 修 名	令和6年度 市町村議会議員研修 [3日間コース] 「人口減少社会における議会の役割」	
参 加 者	平下尚己	
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	概要 初日に、「これからの地方議会への期待～人口減少社会を見据えて～」のテーマで、人口減少が深刻化し、高齢者人口が顕在化する地方行政の諸課題や、目指すべき地方行政・地方議会の姿について、武庫川女子大学大学経営学部 教授 金崎健太郎氏から講義を受けた。 次に「人口減少社会における南砺市の取組」と題し、人口減少社会が進む中、行政に多様な層が参画するための取組（小規模多機能自治）を行う南砺市の将来を見据えた対策や今後の方向性、課題等を、富山県南砺市長/地域共生政策自治体連携機構 代表理事 田中幹夫氏より説明を受けた。 二日目は、「人口減少社会について考える～若者の未婚や少子化の視点から～」のテーマで、少子化の要因となる、若い世代が仕事や家計の問題から結婚や出産を諦めてしまう現状や対策などについて、今後の日本がどのような方向に向かうべきか、日本総合研究所調査部 上席主任研究員 藤波匠氏から講義を受けた。 次に「人口減少社会について考える～人口推計の結果を踏まえた視点から～」のテーマで、地域において人口減少を回避する上で、地域を知りその特性を生かしたまちづくりを行うことが大切であることから、人口推計の結果を踏まえ、地域の変化をよく認識したうえで地域におけるまちづくりのあり方について、長野県立大学グローバルマネジメント学部 教授 田村秀氏から講義を受けた。 次に各班（3～5人）に分かれ、「これからの地域の姿を考える～議員として何ができるか～」のテーマで、初日の講義内容（これからの地方議会に期待されていること）及び二日目の講義内容（具体的な各論）をふまえ、人口減少社会での地域について考え、ひとりの議員として何ができるかについて、長野県立大学グローバルマネジメント学部 教授 田村秀氏のサポートを受けながら、意見交換を行った。 三日目は、「人口減少社会における議会の役割」として、2日間の研修で学んだこと、意見交換で出た答えなどを、各班3分以内で発表した。その後、人口減少社会における議会の役割（議員個人が集まる議会としての役割）について、長野県立大学グローバルマネジメント学部 教授 田村秀氏より前日の意見交換の講評及び全体のまとめとしての統括講義を受けた。	

特色

初日、講堂にて 126 名参加し、「これからの地方議会への期待～人口減少社会を見据えて～」では、人口減少しているが悲観する必要はない。戦後と変わらない。高齢化率が上がっているのは寿命が延びたから。人口構造の変化と捉え、社会がついていかなければならない。

「人口減少社会における南砺市の取組」では、現市長のパワフルそしてユーモアあふれる話し方であったという間の時間だった。ライドシェアの話題では、かなり熱く話されていた。

二日目、「人口減少社会について考える～若者の未婚や少子化の視点から～」では、足元の出生数減少の主要因は女性数の減少であり、有配偶出生率（結婚している女性が子供を産んでいる率）低下の影響が大である。との見解であった。特にジェンダーギャップの改善が不可欠であることと、企業が積極的に取り組むべきであることの主張が印象的であった。

「人口減少社会について考える～人口推計の結果を踏まえた視点から～」では、大量のデータを駆使し説得力のある講義であった。

- ・全国小地域別人口推計システム
- ・政府統計の総合窓口（e-Stat）
- ・地理情報支援システム MANDARA10

を紹介しながらわかりやすく説明していただいた。

「これからの地域の姿を考える～議員として何ができるか～」として、各班に分かれ、各自治体の現状、将来の姿について自由討議しながら、議員として、議会としてどのようなことをすべきか（すべきでないか）、人口減少社会における議員や議会の役割、執行部、住民との関係についても話し合い三日目の発表をまとめた。

感想

二つの班を除いて、自然減対策・社会減対策が必要な班がほとんどであり、各自治体共に人口減少社会における対策は同じであると感じた。いかに人口減少の推移を緩やかにしていくこと。住みたい、住み続けたいまちづくりが大切である。

そのためには地域住民の声を吸い上げ、市町村から県や国へ、どんどん提案・要望をしていくことが最重要と感じた。

非常に有意義な研修でした。